

いのちの森
No. 22
2017 年度調査報告



2018年10月7日
京都ビオトープ研究会
いのちの森モニタリンググループ

はじめに

-22 冊目の年次報告書発行に当たって-

田端敬三

2017 年度の調査レポート、22 冊目ともなる、いのちの森の年次報告書がお届けできる運びとなりました。昨年 2016 年度の調査報告書からは、一旦、冊子版の印刷は取止め、モニタリンググループのホームページ上で、電子ファイルをご覧いただくのみの形式とさせて頂いています。何卒、ご理解、ご了承を頂ければと存じます。

いのちの森が位置する梅小路公園ですが、開園した 1995 年から現在、20 年以上が経過し、大きく様変わりしました。私自身が初めてこの公園を訪れたのは、開園から 2 年後の 1997 年だったのですが、その時、京都の人たちにはまだそれほど認知されていなかったようで、初めて訪れる公園の場所がよくわからず、JR 京都の駅ビルで、道を尋ねたのですが、「梅小路公園？ 聞いたことないですね」と怪訝な顔をされたのをよく覚えています。しかし、その後、音楽グループ「くるり」が毎年 9 月に開催する芝生広場でのイベントや、京都水族館、さらには梅小路公園に隣接する敷地での鉄道博物館の開業によって、京都どころか、全国的によく知られた公園となりつつあります。2019 年春にはいよいよ JR 嵯峨野線の新駅「梅小路京都西駅」が公園内にオープンし、より多くの人が訪れる賑やかな場所へと変わっていくことでしょう。

いのちの森について、ここところ、いくつか取材を受けました。京都大学新聞 2017 年 10 月 1 日号では「都心に造る古都の自然、その役割 梅小路公園「いのちの森」と題した紹介記事が掲載されました (<http://www.kyoto-up.org/archives/2632>)。また、京都で配布されている総合生活情報紙、リビング京都 2018 年 11 月 24 日号においては、「市民の力が研究に役立っています」とのタイトルでモニタリング活動が紹介され、北川ちえこさん、中西有美さん、橋本啓史さんの写真が掲載されています (<https://www.kyotoliving.co.jp/article/181124/front/>)。

梅小路公園に注目が集まっているこの好機に、都市でのビオトープ創出、自然再生の重要性を、いのちの森から、さらに多くの人たちに発信していきたいと考えています。これからもご協力を何卒宜しくお願い致します。



写真：いのちの森内のアセビ

目次

はじめに

田端敬三	1
------------	---

いのちの森の植物

田端敬三・今西亜友美・小宅由似・北川ちえこ・紅野 博・鳥居道治 長尾輝治・中西有美・中西花奈・中村 進・橋本啓史・藤井基弘	2
--	---

「いのちの森」で確認された鳥

橋本啓史・藤井基弘・鳥居道治・須川 恒 金子祐希・平澤一男・北川ちえこ	12
--	----

「きのこ」分野の調査報告

下野義人・大藪崇司・北出雄生・平澤一男 桑原千佳・川村奈々・松岡俊将・岩瀬剛二	16
--	----

いのちの森自然観察会報告

田端敬三・北川ちえこ	28
------------------	----

名簿	29
----------	----

表表紙写真：アヒル（撮影：田端敬三）

裏表紙写真：ヤマザクラ（撮影：田端敬三）

いのちの森の植物

田端敬三・今西亜友美・小宅由似・北川ちえこ・紅野 博・鳥居道治

長尾輝治・中西有美・中西花奈・中村 進・橋本啓史・藤井基弘

「いのちの森」は、1996年4月に京都市下京区梅小路公園内に開設された面積約0.6haの緑地である。本調査は、「いのちの森」における植物相の変化を追跡することにより、市街地に新しく造成された緑地が自然性を獲得していく過程をフロラの面から評価することを目的としている。そこで、植栽された植物の定着と、埋土種子の発芽や外部からの侵入によって発生した植物の消長の2点に留意して、1996年に2回、1997年度から今年度までほぼ毎月1回フロラ調査を行っている。ここで、本調査の対象とした植物は、種子植物およびシダ植物であり、コケ植物および藻類は含まれていない。また、シダ植物については2002年度報告書より別章を設けているため、本章では種子植物（以下、植物）についてのみ報告する。

1. 調査方法

1996年度は10月20日にフロラ調査、12月21日に植栽された樹木の照合調査を行った。1997年から今年度までほぼ毎月1回、「いのちの森」のフェンスで囲まれた区域内において、植物についてのフロラ調査を行った。

フロラ調査では「いのちの森」内をくまなく歩き、出現した植物（植栽を含む）の種名および開花・結実時期を記録した。記録した植物は押し葉標本にし、京都市都市緑化協会に保存している。この他、1997年度から1999年度までは5月、10月の年2回、2000年度から2004年度までは5月、8月、10月、11月の年4回、2005年度からは5月、10月の年2回行っている自然観察会での観察記録や、1997年に佐藤と森本淳子が行った木本の芽生え調査の結果、また、2012年度から設置した164箇所の1m×1mコドラートでの木本の芽生え調査の結果も含めた。1998年度に田端が、全ての植栽樹木にナンバリングを行い、それをもとにして植栽完成図との照合調査を行った。種の同定には主に以下の図鑑を用いた。

- ・原色日本帰化植物図鑑 保育社
- ・原色日本植物図鑑 草本編・木本編 保育社
- ・日本イネ科植物図鑑 平凡社
- ・山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花 山と溪谷社

表-1 2017年度に確認された種数

総数	82科 261 種	植栽	134 種
		植栽以外	127 種
木本	46科 140 種	植栽	101 種
		植栽以外	39 種
草本	46科 121 種	植栽	33 種
		植栽以外	88 種

- ・山溪ハンディ図鑑2 山に咲く花 山と溪谷社
- ・山溪ハンディ図鑑3～5 樹に咲く花 山と溪谷社

また、分類体系を2014年度報告まで用いていた新エングラール分類体系から、Haston et al. (2009)およびChristenhusz et al. (2011)によるAPGIII (Angiosperm Phylogeny Group III)植物分類体系に変更した。科の配列は以下の文献に従った。

- ・維管束植物分類表 北隆館

2. 結果

(1) 記録した種数

今年度確認された植物の種数を木本・草本および植栽・植栽以外で区分したものを表-1に示す。今年度は82科261種の植物の生育を確認した。また、今年度までに確認された植物の種数を木本・草本および植栽・植栽以外で区分したものを表-2に示す。今年度新たに2種記録され、その結果、今年度までに確認された植物の種数は、111科596種となった。

(2) 植栽された植物

今年度は計134種の植栽された植物の生育を確認した。

- ・木本

今年度新たにミヤコツツジが植栽された。その結果、初年度から今年度までに「いのちの森」に植栽された木本は132種となった。今年度においては101種の植栽された木本の生育を確認した。

- ・草本

今年度新たに追加で植栽された草本種はなかった。その結果、初年度から今年度までに「いのちの森」に植栽された草本は、計89種のままであった。

(3) 植栽以外の植物

今年度は127種の植栽以外の植物の生育を確認した。植栽以外の植物種数の変化を図-1に、外来種率の変化を図-2に示す。

今年度確認された木本の種数は39種であった（図-1）。外来種率については、2005年度以降は12～13%で安定していたが、2009年度頃より減少し、今年度は昨年度と同じく2.6%であった（図-2）。

表-2 2017年度までの累積種数

総数	111科 596 種	植栽	221 種
		植栽以外	375 種
木本	57科 189 種	植栽	132 種
		植栽以外	57 種
草本	71科 407 種	植栽	89 種
		植栽以外	318 種

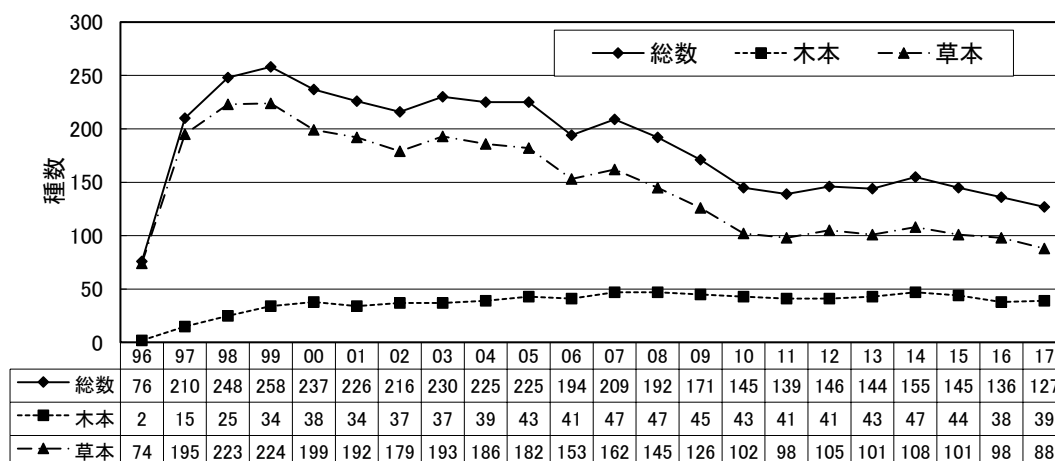


図-1 植栽以外の植物種数の変化

草本の種数は、1999 年度をピークにその後一旦は減少したが、2010 年度からは 100 種前後で安定傾向にあった。しかし、今年度は 88 種と、昨年度から 10 種減少した（図-1）。昨年度までは生育が確認されていたが、今年度は記録されなかった主な種としては、タチスズメノヒエ（イネ科）などがあった。また、外来種の割合は、2009 年度以降は概ね 20% 前後で推移しており、今年度は昨年度とほぼ同じ値で、19.3% であった（図-2）。

植栽以外の植物の新規確認種数の変化を図-3 に示す。今年度、草本種としてヤマアワ（イネ科）の発生が新たに確認された。

- ・ 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫編（1989）日本の野生植物 木本2：平凡社
- ・ 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編（1982）日本の野生植物 草本1 単子葉類：平凡社
- ・ 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編（1982）日本の野生植物 草本2 離弁花類：平凡社
- ・ 奥田重俊（1997）生育環境別 日本野生植物館：小学館
- ・ 米倉浩司（2013）維管束植物分類表：北隆館

参考文献

- ・ 長田武正（1992）原色日本帰化植物図鑑：保育社
- ・ 北村四郎・村田源（1957・1961・1964）原色日本植物図鑑
- ・ 草本編：保育社
- ・ 北村四郎・村田源（1971・1979）原色日本植物図鑑 木本編：保育社
- ・ 長田武正（1989）日本イネ科植物図譜：平凡社
- ・ 林弥栄監修（1989）山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花：山と溪谷社
- ・ 畔上能力編（1996）山溪ハンディ図鑑 2 山に咲く花：山と溪谷社
- ・ 高橋秀男・勝山輝男監修（2000）山溪ハンディ図鑑 3 樹に咲く花 離弁花①：山と溪谷社
- ・ 高橋秀男・勝山輝男監修（2000）山溪ハンディ図鑑 4 樹に咲く花 離弁花②：山と溪谷社
- ・ 高橋秀男・勝山輝男監修（2001）山溪ハンディ図鑑 5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物：山と溪谷社
- ・ 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫編（1989）日本の野生植物 木本1：平凡社

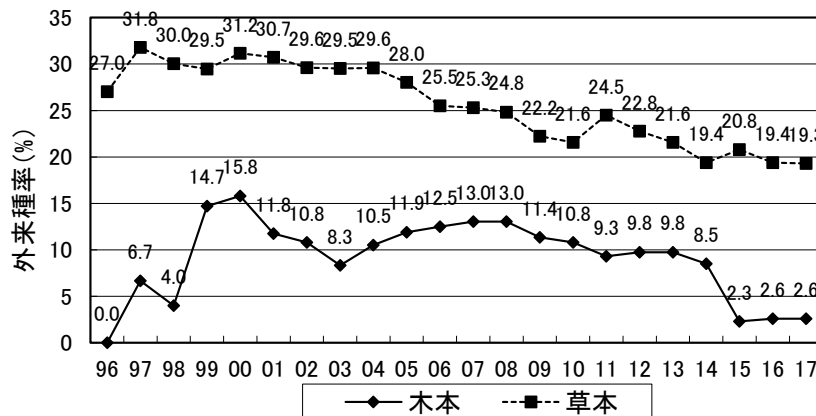


図-2 植栽以外の外来種率の変化

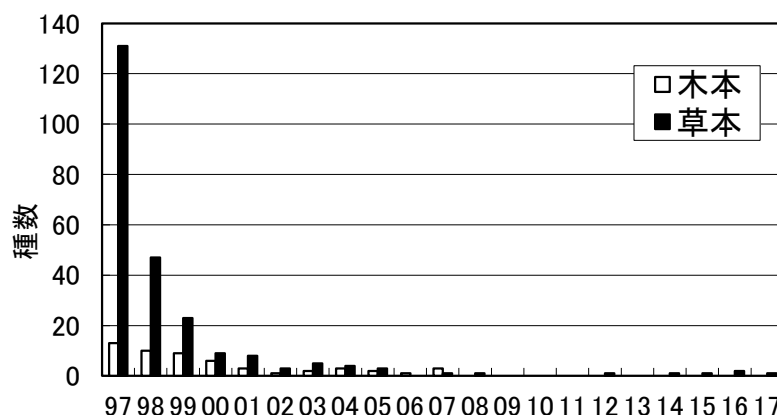


図-3 植栽以外の植物の新規確認種数

表-3 いのちの森の植物相

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度		
マツ科																										
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
マキ科																										
イヌマキ <i>Podocarpus macrophyllus</i>												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		木本	
ヒノキ科																										
ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i>																									木本	
スギ <i>Cryptomeria japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シロスギとして植栽	96 木本	
スイレン科																										
オニバス <i>Euryale ferox</i>													○	○	○									植栽 絶滅寸前種(京都府)、絶滅危惧種C(近畿)、絶滅危惧Ⅱ類(環境省)	07 草本	
コウホネ? <i>Nuphar japonicum?</i>			○																					植栽	96 草本	
ヒメコウホネ <i>Nuphar subintegerrima</i>																					○	○	植栽	16 草本		
ヒツジグサ? <i>Nymphaea tetragona?</i>		○	○	○	○	○																		植栽、準絶滅危惧種(京都府)	96 草本	
センリョウ科																										
フタリシズカ <i>Chloranthus serratus</i>			○																					植栽	98 草本	
ウマノズクサ科																										
フタバアオイ <i>Asarum caulescens</i>																						○	○	植栽	16 草本	
ドクダミ科																										
ドクダミ <i>Houttuynia cordata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		草本	
ハンゲショウ <i>Saururus chinensis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	97 草本	
モクレン科																										
ホオノキ <i>Magnolia obovata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													植栽	96 木本	
モクレン sp. <i>Magnolia</i> sp.						○																			木本	
クスノキ科																										
クスノキ <i>Cinnamomum camphora</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
ヤブニッケイ <i>Cinnamomum japonicum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
ゲッケイジュ <i>Laurus nobilis</i>							○	○	○	○	○	○	○	○										逸出、帰化	木本	
ヤマコウバシ <i>Lindera glauca</i>							○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		木本	
クロモンジ <i>Lindera umbellata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													植栽	96 木本	
タブノキ <i>Machilus thunbergii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
ショウブ科																										
ショウブ <i>Acorus calamus</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	98 草本	
セキショウ <i>Acorus gramineus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 草本	
サトイモ科																										
コウキクサ <i>Lemna minor</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									準絶滅危惧種(京都府)	草本	
カラスビシャク <i>Pinellia ternata</i>			○	○				○				○													草本	
オモダカ科																										
ウリカワ <i>Sagittaria pygmaea</i>		○	○	○																					草本	
トチカガミ科																										
トチカガミ <i>Hydrocharis dubia</i>		○	○																					絶滅危惧種(京都府)	草本	
ヤマノイモ科																										
ヤマノイモ <i>Dioscorea japonica</i>		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	植栽	96 草本		
ウチワドコロ <i>Dioscorea nipponica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
カエデドコロ <i>Dioscorea quinqueloba</i>				○		○	○	○	○	○	○										○		○	草本		
オンドコロ <i>Dioscorea tokoro</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		草本		
イヌサフラン科																										
ホウチャクソウ <i>Disporum sessile</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	01 草本	
サルトリイバラ科																										
サルトリイバラ <i>Smilax china</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	植栽		96 木本		
タチシオデ <i>Smilax nipponica</i>						○	○	○	○	○	○													草本		
ユリ科																										
ヤマユリ <i>Lilium auratum</i>							○	○	○	○														絶滅種(京都府)	草本	
オニユリ <i>Lilium lancifolium</i>							○					○	○	○	○									植栽	96 草本	
タイワンホトトギス <i>Tricyrtis formosana</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ホトトギスとして植栽	96 草本	
ヤマジノホトトギス <i>Tricyrtis macropoda</i>							○	○		○														草本		
ラン科																										
エビネ <i>Calanthe discolor</i>																					○	○	○	植栽	15 草本	
シュンラン <i>Cymbidium goeringii</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	98 草本	
ラン sp.?																								植栽?	? 草本	
ネジバナ <i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													植栽	97 草本	
アヤメ科																										
ノハナショウブ <i>Iris ensata</i>																					○	○	○	○	植栽	14 草本
ヒオウギ <i>Iris domestica</i>																							○	○	植栽	16 草本
ヒメシャガ <i>Iris gracilipes</i>		○	○	○	○	○	○	○	○															植栽、絶滅寸前種(京都府)、準絶滅危惧(環境省)	96 草本	
シャガ <i>Iris japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							植栽	96 草本	
カキツバタ <i>Iris laevigata</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○						植栽、準絶滅危惧種(京都府)、絶滅危惧Ⅱ類(環境省)	96 草本	
キショウブ <i>Iris pseudoacorus</i>				○																				帰化	草本	
ニワゼキショウ <i>Sisyrinchium atlanticum</i>							○	○			○	○	○	○										帰化	草本	
オオニワゼキショウ <i>Sisyrinchium</i> sp.							○	○														○	○	帰化	草本	
ススキノキ科																										
ユウスゲ <i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>							○	○	○	○														ニッコウキスゲとして植栽	98 草本	
ヤブカンゾウ <i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>							○	○	○	○														植栽	98 草本	
キスゲsp <i>Hemerocallis</i> sp.																						○		植栽	14 草本	
ヒガンバナ科																										
ニラ <i>Allium tuberosum</i>			○	○	○		○																	逸出	草本	
シロバナマンジュシャゲ <i>Lycoris albiflora</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ナツズイセンとして植栽	98 草本	
ヒガンバナ <i>Lycoris radiata</i>				○	○	○	○	○													○			草本		
オオカヅネノカミソリ <i>Lycoris sanguinea</i> var. <i>kiushiana</i>							○	○		○	○													植栽	98 草本	
ナツズイセン <i>Lycoris squamigera</i>							○		○	○	○													植栽	98 草本	
スイセン <i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									植栽	98 草本	
タマスダレ <i>Zephyranthes candida</i>							○	○	○	○														植栽	99 草本	
キジカクシ科																										
ハラシ <i>Aspidistra elatior</i>																					○	○		草本		
オオバギボウシ <i>Hosta sieboldiana</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								植栽?	97 草本	
ギボウシsp. <i>Hosta</i> sp.							○			○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	植栽	99 草本	
ヤブラン <i>Liriope platyphylla</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 草本	
ムスカリ <i>Muscari</i> sp.							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								植栽	98 草本	
オオバジャノヒゲ <i>Ophiopogon planiscapus</i>		○	○	○	○	○	○	</																		

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度
ツユクサ科																								
マルバツユクサ <i>Commelina benghalensis</i>				○	○	○	○																	草本
ツユクサ <i>Commelina communis</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
イボクサ <i>Murdannia keisak</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	草本
ヤブミョウガ <i>Pollia japonica</i>																					○	○	○	草本
ムラサキツユクサ <i>Tradescantia ohiensis</i>				○				○																98 草本
トキワツユクサ <i>Tradescantia fluminensis</i>																				○	○	○	○	草本
ミスアオイ科																								
ホテイアオイ <i>Eichhornia crassipes</i>				○	○	○																		97 草本
コナギ <i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○	○	○	○	草本
ガマ科																								
ヒメガマ <i>Typha augustifolia</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○			96 草本
ガマ <i>Typha latifolia</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						96 草本
コガマ <i>Typha orientalis</i>																					○			16 草本
イグサ科																								
ヒロハノコウガイゼキショウ <i>Juncus diastrophanthus</i>		○	○	○	○	○	○																	絶滅寸前種(京都府)
イ <i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							草本
コウガイゼキショウ <i>Juncus leschenaultii</i>																								草本
ホソイ <i>Juncus setchuensis</i> var. <i>effusoides</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
クサイ <i>Juncus tenuis</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
スズメノヤリ <i>Luzula capitata</i>				○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ヤマスズメノヒエ <i>Luzula multiflora</i>								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					草本
カヤツリグサ科																								
アオスゲ <i>Carex breviculmis</i>								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
アゼナルコ <i>Carex dimorpholepis</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
カサスゲ <i>Carex dispalata</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
シラスゲ <i>Carex doniana</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
マスキサ <i>Carex gibba</i>				○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ジュズスゲ <i>Carex ischnosrachya</i>								○		○														草本
ヒゴクサ <i>Carex japonica</i>									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i>								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ナキリスゲ <i>Carex lenta</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ササノハスゲ/タガネソウ <i>Carex pachygyna</i> / <i>siderosticta</i>																							草本	
ニシノホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i>																							草本	
アゼスゲ <i>Carex thunbergii</i>			○			○	○	○	○	○	○											○		草本
モエギスゲ <i>Carex tristachya</i>				○	○	○			○	○			○	○	○						○	○		草本
チャガヤツリ <i>Cyperus amuricus</i>				○		○																		絶滅危惧種(京都府)
ヒメクグ <i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
クグガヤツリ <i>Cyperus compressus</i>			○									○												草本
タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i>			○	○	○	○		○	○													○		草本
メリケンガヤツリ <i>Cyperus eragrostis</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96 草本
アゼガヤツリ <i>Cyperus flavidus</i>				○	○	○																		草本
コゴメガヤツリ <i>Cyperus iria</i>			○	○	○	○		○	○	○	○				○		○	○	○	○				草本
カヤツリグサ <i>Cyperus microiria</i>			○	○	○	○		○	○												○			草本
ハマスゲ <i>Cyperus rotundus</i>				○	○		○	○																草本
カワラスガナ <i>Cyperus sanguinolentus</i>				○																				草本
マツノバイ <i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>								○	○	○														草本
テンツキ <i>Fimbristylis dichotoma</i>										○														草本
ヒデリコ <i>Fimbristylis miliacea</i>			○		○																			草本
ヒンジガヤツリ <i>Lipocarpus microcephala</i>												○	○											草本
イヌホタルイ <i>Scirpus juncoides</i> var. <i>ohwianus</i>			○	○	○		○	○	○	○														草本
マツカサススキ <i>Scirpus mitsukurianus</i>																						○	○	植栽
フトイ <i>Scirpus tabernaemontani</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									96 草本
イネ科																								
アオカモジグサ <i>Agropyron ciliare</i> var. <i>minus</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
カモジグサ <i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
コヌカグサ <i>Agrostis alba</i>	?		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○								96 草本
ナンカイヌカボ <i>Agrostis avenacea</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○								96 草本
ヤマヌカボ <i>Agrostis clavata</i>				○																				草本
ヌカボ <i>Agrostis clavata</i> var. <i>nukabo</i>			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ハナヌカススキ <i>Aira elegantissima</i>																								96 草本
スズメノテツボウ <i>Alopecurus aequalis</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	草本
メリケンカルカヤ <i>Andropogon virginicus</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○								96 草本
コブナグサ <i>Arthraxon hispidus</i>			○	○	○	○		○	○												○	○	○	草本
トダシバ <i>Arundinella hirta</i>				○	○																			草本
カラスムギ <i>Avena fatua</i>																								96 草本
ヒメコバンソウ <i>Briza minor</i>																								96 草本
イヌムギ <i>Bromus catharticus</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○								96 草本
ノギリヤス <i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>brachytricha</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○								96 草本
ヤマアワ <i>Calamagrostis epigeios</i>																								96 草本
ギョウギシバ <i>Cynodon dactylon</i>				○				○	○															96 草本
カモガヤ <i>Dactylis glomerata</i>				○	○	○		○	○	○	○	○												96 草本
クシゲメシバ <i>Digitaria adscendens</i> var. <i>fimbriata</i>				○	○	○																		96 草本
メシバ <i>Digitaria ciliaris</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96 草本
コメシバ <i>Digitaria timorensis</i>																								96 草本
アキメシバ <i>Digitaria violascens</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96 草本
ケイヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>aristata</i>				○					○													○		96 草本
イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>caudata</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96 草本
オヒシバ <i>Eleusine indica</i>			○																					96 草本
カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i>			○	○	○	○		</																

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度
イネ科																								
トキワススキ <i>Miscanthus floridulus</i>					○																			草本
ススキ <i>Miscanthus sinensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							草本
チヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	逸出
イネ <i>Oryza sativa</i>	○																			○	○	○	○	草本
ヌカキビ <i>Panicum bisulcatum</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
オオクサキビ <i>Panicum dichotomiflorum</i>		○	○	○	○	○						○												帰化
シマズメノヒエ <i>Paspalum dilatatum</i>	○	○	○	○	○	○	○				○													帰化
スズメノヒエ <i>Paspalum thunbergii</i>				○	○	○	○																	草本
タチスズメノヒエ <i>Paspalum urvillei</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	帰化
クサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
シマヨシ <i>Phalaris arundinacea</i> var. <i>picta</i>		○	○	○	○	○		○	○	○	○													97
オオアワガエリ <i>Phleum pratense</i>		○	○	○																				帰化
ツルヨシ <i>Phragmites japonica</i>				○																				草本
ヨシ <i>Phragmites communis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96
セイタカヨシ <i>Phragmites karka</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96
ネザサ <i>Pleiolobatus chino</i> var. <i>viridis</i>							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96
ミノイチゴツナギ <i>Poa acroleuca</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
スズメノカタビラ <i>Poa annua</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
ナガハグサ <i>Poa pratensis</i>		○					○	○		○													○	帰化
イチゴツナギ <i>Poa sphondylodes</i>		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本
タマオオスズメノカタビラ <i>Poa trivialis</i>																								草本
ヒエガエリ <i>Polypogon fugax</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										草本
クマザサ <i>Sasa veitchii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96
アキノエノコログサ <i>Setaria faberi</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○								木本
キンエノコロ <i>Setaria glauca</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○										草本
エノコログサ <i>Setaria viridis</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	草本

[illegible]

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度		
ニシキギ科																										
ニシキギ <i>Euonymus alatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
ツルマサキ <i>Euonymus fortunei</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
マサキ <i>Euonymus japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
マユミ <i>Euonymus sieboldianus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96 木本	
ユモトマユミ <i>Euonymus sieboldianus</i> var. <i>sanguineus</i>										○	○	○												植栽	96 木本	
カタバミ科																										
カタバミ <i>Oxalis corniculata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○			草本	
ムラサキカタバミ <i>Oxalis corymbosa</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○														帰化	草本	
オウタチカタバミ <i>Oxalis stricta</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			帰化	草本
トウダイグサ科																										
エノキグサ <i>Acalypha australis</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○				草本	
オオニシキソウ <i>Euphorbia maculata</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												帰化	草本	
コニシキソウ <i>Euphorbia supina</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○						帰化	草本	
アカメガシワ <i>Mallotus japonicus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 草本
ナンキンハゼ <i>Sapium sebiferum</i>									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		逸出	木本
ミカンソウ科																										
コミカンソウ <i>Phyllanthus urinaria</i>			○																						草本	
ミゾハコベ科																										
ミゾハコベ <i>Elatine triandra</i>			○	○	○							○													草本	
ヤナギ科																										
フリソデヤナギ <i>Salix × leucopithecia</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												植栽	96 木本	
スミレ科																										
タチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i>			○					○	○	○															植栽	96 草本
ヒゴスミレ <i>Viola chaerophylloides</i> var. <i>sieboldiana</i>						○																			草本	
ヒメスミレ <i>Viola confusa</i> subsp. <i>nagasakiensis</i>						○																			草本	
スミレ <i>Viola mandshurica</i>			○	○	○	○			○											○					植栽	96 草本
シロガネスミレ <i>Viola mandshurica</i> f. <i>hasegawae</i>				○	○	○																			96 草本	
ツボスミレ? <i>Viola verecunda</i> ?				○											○										草本	
サンシキスミレ <i>Viola</i> sp.			○																						逸出	草本
オトギリソウ科																										
オトギリソウ <i>Hypericum erectum</i>			○																						草本	
フウロソウ科																										
アメリカフウロ <i>Geranium carolinianum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○					帰化	草本
ゲンノショウコ <i>Geranium nepalense</i> subsp. <i>thunbergii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			植栽	97 草本
ミソハギ科																										
サルスベリ <i>Lagerstroemia indica</i>					○	○																			逸出	木本
ザクロ <i>Punica granatum</i>																									植栽、帰化	96 木本
アカバナ科																										
ヒレタゴボウ <i>Ludwigia decurrens</i>					○																○	○			帰化	草本
チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i>			○			○		○	○	○	○	○					○		○	○	○	○			草本	
コマツヨイグサ <i>Oenothera lacinata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												帰化	草本
アレチマツヨイグサ <i>Oenothera parviflora</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												帰化	草本
ミツバウツギ科																										
ゴンズイ <i>Euscaphis japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										植栽	98 木本
ミツバウツギ <i>Staphylea bumalda</i>																									植栽	96 木本
ウルシ科																										
スルデ <i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburghii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			木本	
ハゼノキ <i>Toxicodendron succedaneum</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		逸出	木本
ヤマハゼ <i>Toxicodendron sylvestre</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			木本	
ヤマウルシ <i>Toxicodendron trichocarpum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			木本	
ムクロジ科																										
イタヤカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 木本
イロハモミジ <i>Acer palmatum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 木本
ミカン科																										
カラタチ <i>Citrus trifoliata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽、帰化	96 木本
ウンシュウミカン <i>Citrus unshiu</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 木本
キハダ <i>Phellodendron amurense</i>		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 木本
カラスザンショウ <i>Zanthoxylum ailanthoides</i>																						○			木本	
サンショウ <i>Zanthoxylum piperitum</i>		○		○	○											○	○	○	○	○	○	○			植栽、2011年に実生が出現	96 木本
センダン科																										
センダン <i>Melia azedarach</i> var. <i>subtripinnata</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			木本
アオイ科																										
シナノキ <i>Tilia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		植栽	96 木本
アブラナ科																										
セイヨウカラシナ <i>Brassica juncea</i>																					○				草本	
ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i>		○	○	○	○	○		○																	草本	
タネツケバナ <i>Cardamine flexuosa</i>		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			草本
ミチタネツケバナ <i>Cardamine hirsuta</i>										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		帰化	草本
オオバタネツケバナ <i>Cardamine regeliana</i>																○	○	○	○	○	○	○	○		草本	
ワサビ <i>Eutrema japonicum</i>																									植栽	00 草本
カラクサナズナ <i>Lepidium didymum</i>			○	○																					帰化	草本
マメガンバイナズナ <i>Lepidium virginicum</i>																									帰化	草本
オランダガラシ <i>Nasturtium officinale</i>																									帰化	草本
ダイコン <i>Raphanus sativus</i>			○																						逸出	草本
イスガラシ <i>Rorippa indica</i>		○	○	○	○	○	○		○																	草本
スカシタゴボウ <i>Rorippa islandica</i>			○	○	○	○	○		○																	草本
タデ科																										
イタドリ <i>Fallopia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			草本
ヒメツルソバ <i>Persicaria capitata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○															帰化	草本
サクラタデ <i>Persicaria conspicua</i>																									草本	
ミズヒキ <i>Persicaria filiformis</i>				○	○	○																			草本	
オオイヌタデ <i>Persicaria lapathifolia</i>		○	○	○	○					○															草本	
イヌタデ <i>Persicaria longiseta</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		草本	
ボントクタデ <i>Persicaria pubescens</i>			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○												草本	
ミソソバ <i>Persicaria thunbergii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		草本	
スイバ <i>Rumex acetosa</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		草本	
アレチギンギン <i>Rumex conglomeratus</i>			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			帰化	草本
ギンギン <i>Rumex japonicus</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			草本	
エゾノギンギン <i>Rumex obtusifolius</i>			○	○	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○			帰化	草本
ナデシコ科																										
オランダミナグサ <i>Cerastium glomeratum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			帰化	草本
ミミナグサ <i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>hallaisanense</i>								○	○	○	○	○													草本	

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度				
ナデシコ科																												
カワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i>																					○		植栽	16	草本			
ツメクサ <i>Sagina japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○											草本			
ノミノフスマ <i>Stellaria alsiue</i> var. <i>undulata</i>			○		○	○	○	○	○	○								○	○			○			草本			
ウシハコベ <i>Stellaria aquatica</i>			○	○	○																				草本			
コハコベ <i>Stellaria media</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○			草本			
ミドリハコベ <i>Stellaria neglecta</i>				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○				草本			
ヒユ科																												
イコスチ(ヒカゲイノズチ) <i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
ヒナタイノゴツチ <i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
ケイトウ <i>Celosia cristata</i>	○																						○		草本			
シロザ <i>Chenopodium album</i>		○	○	○							○									○					草本			
アカザ <i>Chenopodium centrorubrum</i>		○	○	○																					草本			
ヤマゴボウ科																												
ヨウシュヤマゴボウ <i>Phytolacca americana</i>		○	○	○	○	○	○	○	○				○					○	○	○	○			帰化	草本			
スベリヒユ科																												
スベリヒユ <i>Portulaca oleracea</i>			○	○	○																				草本			
ミズキ科																												
ミズキ <i>Cornus controversa</i>		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			植栽	96	木本		
ハナミズキ <i>Cornus florida</i>		○	○	○	○	○	○																	植栽、帰化	96	木本		
ヤマボウシ <i>Cornus kousa</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			植栽	96	木本		
クマノミズキ <i>Cornus macrophylla</i>									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
アジサイ科																												
ウツギ <i>Deutzia crenata</i>			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
コアジサイ <i>Hydrangea hirta</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	01	木本	
タマアジサイ <i>Hydrangea involucrata</i>							○	○			○													植栽	01	木本		
セイヨウアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> f. <i>hortensia</i>							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽、帰化	00	木本	
ガクアジサイ <i>Hydrangea macrophylla</i> f. <i>normalis</i>	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	ヤマアジサイとして植栽	96	木本	
ヤマアジサイ？ <i>Hydrangea serrata</i> ?							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	00	木本	
バйкаウツギ <i>Philadelphus satsumi</i>			○	○		○																			木本			
ベンタフィラス科																												
サカキ <i>Cleyera japonica</i>												○	○	○	○	○	○	○	○	○					木本			
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本		
モッコク <i>Ternstroemia gymnanthera</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	木本			
カキノキ科																												
カキノキ <i>Diospyros kaki</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
マメガキ <i>Diospyros lotus</i>												○	○	○	○	○	○	○	○	○				植栽	96	木本		
サクラソウ科																												
マンリョウ <i>Ardisia crenata</i>											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
カラタチバナ <i>Ardisia crispa</i>																								○	植栽	16	木本	
ヤブコウジ <i>Ardisia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
コナスビ <i>Lysimachia japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
クリンソウ <i>Primula japonica</i>																					○	○		○	植栽	14	草本	
サクラソウ sp. <i>Primula</i> sp.		○			○	○	○																	植栽	00	草本		
ツバキ科																												
ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
サザンカ <i>Camellia sasanqua</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
ヒメジャラ <i>Stewartia monadelpha</i>			○																					植栽、要注目種(京都府)	97?	木本		
ハイノキ科																												
タンナサワフタギ <i>Symplocos coreana</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
クロバイ <i>Symplocos prunifolia</i>			○	○	○	○	○																		木本			
エゴノキ科																												
エゴノキ <i>Styrax japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
マタビ科																												
サルナシ <i>Actinidia arguta</i>																								植栽	96	木本		
リョウブ科																												
リョウブ <i>Clethra barvinervis</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									植栽	96	木本		
ツツジ科																												
ドウダンツツジ <i>Enkianthus perulatus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
アセビ <i>Pieris japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
サツキ <i>Rhododendron indicum</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	絶滅危惧種(京都府)		木本	
モチツツジ(八重) <i>Rhododendron macrosepalum</i>		?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽(園芸品種)	96	木本	
ヤマツツジ <i>Rhododendron obtusum</i> var. <i>kaempferi</i>		?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
ミヤコツツジ <i>Rhododendron x tectum</i>																								○	植栽	17	木本	
コバノミツバツツジ <i>Rhododendron reticulatum</i>							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
セイヨウシャクナゲ sp. <i>Rhododendron</i> sp.		○	○	○	○	○																		○	ホンシャクナゲとして植栽(園芸品種)	96	木本	
トウゴクミツバツツジ <i>Rhododendron wadanum</i>				○	○	○	○																		○	ヤマツツジとして植栽？	96	木本
シヤンシャンボ <i>Vaccinium bracteatum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
ガリア科																												
アオキ <i>Aucuba japonica</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
アカネ科																												
ヒメオツバムグラ <i>Galium gracilens</i>							○	○	○	○	○	○	○	○				○							草本			
ヤエムグラ <i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
クチナシ(八重) <i>Gardenia jasminoides</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
ヘクソカズラ <i>Paederia scandens</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
アカネ <i>Rubia argyi</i>												○	○												草本			
キョウチクトウ科																												
テイカカズラ <i>Trachelospermum asiaticum</i>			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	植栽	96	木本	
ケテイカカズラ <i>Trachelospermum jasminoides</i> var. <i>pubescens</i>																								○	植栽	96	木本	
ツルニチニチソウ <i>Vinca major</i>						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				逸出	草本		
ムラサキ科																												
ハナイバナ <i>Bothriospermum tenellum</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○			草本			
チシヤノキ <i>Ehretia ovalifolia</i>				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				木本			
キュウリグサ <i>Trigonotis peduncularis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				草本			
ヒルガオ科																												
コヒルガオ <i>Calystegia hederacea</i>		○	○	○	○	○					○														草本			
ヒルガオ <i>Calystegia japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					草本			
アメリカネナシカズラ <i>Cuscuta pentagona</i>		○																						カワラヨモギに寄生、帰化	草本			
ナス科																												
アメリカイヌホオズキ <i>Solanum americanum</i>				○		○																		帰化	草本			
ヒョドリジョウゴ <i>Solanum lyratum</i>				○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	草本			
イヌホオズキ <i>Solanum nigrum</i>		○	○	○	○																			○	草本			
テリミノイヌホオズキ <i>Solanum nodiflorum</i>				○	○	○																	○	帰化	草本			

10

種名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	備考	植栽 年度	
キク科																									
アレチノギク <i>Erigeron bonariensis</i>			○	○	○	○	○																帰化	草本	
ヒメムカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○		帰化	草本	
ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	帰化	草本	
オオアレチノギク <i>Erigeron sumatrensis</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											帰化	草本	
ヒヨドリバナ <i>Eupatorium chinense</i>		○	○																					草本	
フジバカマ <i>Eupatorium fortunei</i>						○	○	○	○	○	○	○	○										植栽、絶滅寸前種(京都府)、絶滅危惧IA類(環境省)	00	草本
ハキダメギク <i>Galinoga ciliata</i>			○	○	○																		帰化	草本	
ハハコグサ <i>Gnaphalium affine</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○			草本		
タチチコグサ <i>Gnaphalium calviceps</i>			○	○	○	○	○	○	○	○			○										帰化	草本	
チチコグサ <i>Gnaphalium japonicum</i>			○		○	○	○	○															草本		
チチコグサモドキ <i>Gnaphalium pensylvanicum</i>			○	○	○	○	○	○	○	○													帰化	草本	
ウスベニチチコグサ <i>Gnaphalium purpureum</i>						○	○	○															帰化	草本	
ウラジロチチコグサ <i>Gnaphalium spicatum</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	帰化	草本	
オオジシバリ <i>Ixeris debilis</i>						○		○	○														草本		
ニガナ <i>Ixeris dentata</i>					○																		草本		
ジシバリ <i>Ixeris stolonifera</i>				○		○	○	○	○	○	○		○										草本		
アキノノゲシ <i>Lactuca indica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○						○			草本		
トゲチシャ <i>Lactuca scariola</i>			○	○	○																		帰化	草本	
ヤブタバコ <i>Lapsana humilis</i>			○	○	○							○											草本		
フキ <i>Petasites japonicus</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											植栽	96	草本
ノボロギク <i>Senecio vulgaris</i>			○	○	○	○		○															帰化	草本	
メナモミ <i>Siegesbeckia orientalis</i> subsp. <i>pubescens</i>			○								○												草本		
セイタカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	帰化、要注目種－外来種(京都府)	草本	
オニノゲシ <i>Sonchus asper</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○												帰化	草本	
ノゲシ <i>Sonchus oleraceus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
カンサイタンポポ <i>Taraxacum japonicum</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
アカミタンポポ <i>Taraxacum laevigatum</i>			○	○	○	○	○	○	○														帰化	草本	
セイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽(播種)、帰化	96	草本
オオオナモミ <i>Xanthium occidentale</i>			○	○	○	○	○																帰化	草本	
オニタビラコ <i>Youngia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
レンブクソウ科																									
ガマズミ <i>Viburnum dilatatum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
キミノガマズミ <i>Viburnum dilatatum</i> f. <i>xanthocarpum</i>			○	○																			ガマズミとして植栽	96	木本
ムシカリ <i>Viburnum furcatum</i>		○	○	○	○																		植栽	96	木本
サンゴジュ <i>Viburnum odoratissimum</i> var. <i>awabuki</i>									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	木本		
ヤブデマリ <i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>		○			○																		植栽	96	木本
ゴマギ <i>Viburnum sieboldii</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	98	木本
スイカズラ科																									
ウグイスカグラ <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
スイカズラ <i>Lonicera japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
オミナエシ <i>Patrinia scabiosaeifolia</i>				○		○																	○ 植栽、要注目種(京都府)	99	草本
タニウツギ <i>Weigela hortensis</i>			○	○		○																	木本		
トベラ科																									
トベラ <i>Pittosporum tobira</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
ウコギ科																									
ウド <i>Aralia cordata</i>			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○									草本		
タラノキ <i>Aralia elata</i>		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
カクレミノ <i>Dendropanax trifidus</i>							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	木本		
ヒメウコギ <i>Eleutherococcus sieboldianus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
ヤツデ <i>Fatsia japonica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	木本		
キヅタ <i>Hedera rhombea</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	木本
ノチドメ <i>Hydrocotyle maritima</i>			○	○	○	○	○	○			○												草本		
チドメグサ <i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>			○	○	○					○	○	○	○										草本		
セリ科																									
ミツバ <i>Cryptotaenia japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										植栽(播種)	96	草本
セリ <i>Oenanthe javanica</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	植栽	96	草本
ヤブニンジン <i>Osmorhiza aristata</i>																						○	草本		
ヤブジラミ <i>Torilis japonica</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	草本		
オヤブジラミ <i>Torilis scabra</i>				○																○			草本		
シャジクモ科*																									
シャジクモ? <i>Chara braunii?</i>						○	○																藻		

*シャジクモ科シャジクモは藻類であり、本調査の対象外であるが、環境省レッドリスト絶滅危惧II類に指定されており希少種であるため掲載した。

「いのちの森」で確認された鳥

橋本啓史・藤井基弘・鳥居道治・須川 恒・金子祐希・平澤一男・北川ちえこ

「いのちの森」は1996年4月に開園され、今年4月で22年が経過した都市公園である。しかし復元型ビオトープとして生き物に配慮した管理が行われており、また人の立ち入りが回廊部分のみと限られていることから、京都の市街地の中にあつて貴重な生物生息空間を形成している。この「いのちの森」やその周辺の環境を評価する指標として、食物連鎖の最上位に位置する鳥類の生息状況を調べることは重要であると考えられるため、1997年度よりフロラ調査と同時に鳥類生息状況調査を行ってきている。本年度は報告会前やグリーンフェア時を含めて13回の調査を実施した。

1. 調査方法

本年度は4月から翌3月まで、5月は2回、その他の月は1回の計13回の鳥類生息状況調査を行った。基本的には毎月第3土曜日の午前9時半から調査を開始し、午前11時頃までの間に記録を取ったが、3月は別日の3月21日に、5月の1回目は観察会と並行して午前10時頃から午後3時頃まで記録を行った。記録項目は見られた種名（家禽を含む）、繁殖行動などである。繁殖の可能性については、環境庁（1981）の繁殖記録ランク（表1）に基づいて判定した。

2. 結果

(1) 記録した種数

本年度(2017年)は表2に示したように、計40種（マガモと同種のアヒルは除く）が記録された。これは過去最高の年間記録種数である（図1左）。本年度に新しく記録された種は、ミゾゴイの1種で、累計種数は72種となった（図1右）。ミゾゴイは5月の春のグリーンフェア時に記録された。樹冠回廊近くの樹上から飛び立ち、朱雀の庭方向へ飛び去った。本種は森に棲むサギの仲間の夏鳥で、環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類および京都府レッドリストの絶滅寸前種に指定されている（京都府自然環境保全課 2015）。渡り途中の通過個体と考えられた。

表2に「京都の野鳥」（京都府、1993）や橋本ほか（2005）などに基づいて、京都盆地の平野部における各種の生息期間から季節的移動型を判断して付記した。本年度に記録した種の季節的移動型別の内訳は留鳥23種（57.5%）、夏鳥3種（7.5%）、冬鳥8種（20.0%）、旅鳥4種（10.0%）、帰化鳥2種（5.0%）であった（図1左）。冬鳥の種数も昨年度同様に多かったが、旅鳥の4種は過去最高であった。なおこの季節的移動型は京都盆地の平野部におけるものであり、かならずしも「いのちの森」における生息状況を示してはいない。

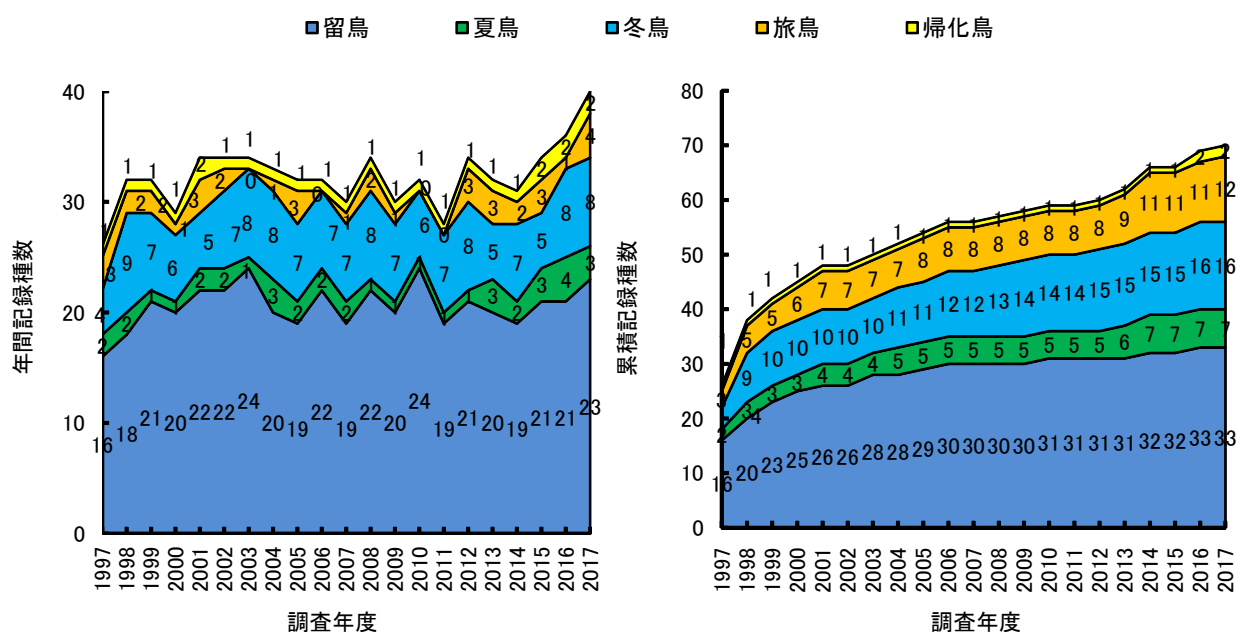


図1. 年間記録種数の推移（左）および累積記録種数の推移（右）

(2) 繁殖状況

今年度 a ランクの繁殖行動（繁殖を確認した）が観察された種はなく、b ランクの繁殖行動（繁殖の確認はできなかったが、繁殖の可能性がある行動記録）が観察された種は、キジバト（轉り）、ハシブトガラス（幼鳥）、シジュウカラ（轉り、幼鳥）、メジロ（轉り）の4種であった。

(3) その他の特筆すべき種

フクロウ（留鳥）が1月6日に京都市都市緑化協会の藤井俊志氏によって観察・撮影された（図2）。前年度10月以来2度目の記録であった。朱雀の庭内にフクロウによるものと思われる食痕もあったとのことである。

ヤマガラ（留鳥）が7月の調査時に記録された。本種は京都盆地で繁殖しているものの、いのちの森ではまだ繁殖期には記録されることがなかった。今回の記録は繁殖期終了後最も早く現れた記録であったが、定着せず、越冬期には記録されなかった。

コムクドリ（旅鳥）が8月の調査時に記録された。雄雌成鳥および幼鳥で3羽以上はいたようだ。2016年度以来3度目の記録であった。

いのちの森内ではなかったが、ルリビタキ（冬鳥）の♀が2月の調査時に朱雀の庭で記録された。園外ではあるが、昨年度に引き続き梅小路公園に飛来したことになる。今後も毎冬飛来することに期待したい。

アトリ（冬鳥）が3年連続渡来した。群れでイロハモミジの種子などを食べている姿が園内外でよく観察できた（図3）。

昨年度の冬に群れが現れたソウシチョウ（特定外来種）が春遅くまで残っており、5月上旬まで観察されたが、その後は現れず、本年度の冬には記録されなかった。

*引用文献

- ・環境庁（1981）日本産鳥類の繁殖分布，環境庁。
- ・京都府（1993）京都の野鳥，京都府。
- ・京都府自然環境保全課（2015）京都府レッドデータブック 2015，

京都府。

- ・日本鳥学会（2012）日本鳥類目録 改訂第7版，日本鳥学会。
- ・橋本啓史・村上健太郎・森本幸裕（2005）京都市内孤立林における樹林性鳥類の相対種数一面積関係と種組成の入れ子パターン。景観生態学 10: 25-35。



図2. フクロウ（藤井俊志氏撮影）



図3. アトリ

表1. 鳥類の繁殖可能性の区分

【繁殖可能性の区分及びその判定項目】		
ランク	基	準
a	繁殖を確認した。	
b	繁殖の確認はできなかったが、繁殖の可能性がある。	
c	生息を確認したが、繁殖については、何ともいえない。	
【判 定 項 目】		
ランク	観 察 事 項	
a 成鳥に ついて	成鳥が巣あるいは巣のあるらしい所にくり返し出入りしている。 成鳥が抱卵又は抱雛している。あるいはしているようだ。 成鳥が巣のあるらしい所に飛び込むと同時にヒナの乞餌声が聞かれた。 成鳥がヒナのフンを運搬している。 成鳥が明らかに調査地域周辺にある巣のヒナに餌を運搬している (餌をくわえたまま観察者を警戒し移動する気配のない場合を含める。)	
巣について	巣立ち後の巣がある。ただし、2007年以後に使用された巣であること。	
卵について	卵のある巣をみた。 成鳥がおちついてすわっている巣の近くで、その種の卵殻が見つかった。	
ヒナに ついて	ヒナのいる巣を見た。 ヒナの声聞いた。	
巣立ちヒナ について	巣からほとんど移動していないと思われる巣立ちヒナ(幼鳥)を見た。	
b 成鳥に ついて	その種が営巣し得る環境で、繁殖期に轉り(キツツキのドラミングを含む)を聞いた。ただし、その鳥が冬鳥・旅鳥かもしれないとき、明確な轉りを持たない鳥(ウ・ヨシゴイとミソゴイを除くサギ・カモ・サシバを除くワシタカ・バン・オオバン・シロチドリ・アマツバメ類・ヤマセミ・カワセミ・スズメ・ムクドリ・カラス)のときを除く。 求愛行動を見た。ただし、その鳥が冬鳥・旅鳥かもしれない時は除く。 交尾行動を見た。ただし、その鳥が冬鳥・旅鳥かもしれない時は除く。 威嚇行動・警戒行動により、付近に巣又はヒナが存在が考えられる。 巣があると思われる所に成鳥が訪れた。ただし、そこが埒である場合は除く。 造巣行動(巣穴堀りを含む)を見た。 成鳥が巣材を運搬している。ただし、明らかに調査地域周辺に巣を構えていると思われる場合に限る。 成鳥がヒナへの餌を運搬しているが、巣が調査地域周辺にあるかどうかわからない。 巣を発見したが、卵、ヒナともなく、成鳥がそこに来るのを認めなかった。ただし、1997年以後に作られた巣であること。 かなり移動可能と思われる巣立ちヒナ(幼鳥)を見た。 家族群を見た。	
巣について	巣について	
巣立ちヒナについて	巣立ちヒナについて	

★環境庁（1981）『日本産鳥類の繁殖分布』より、一部改変

表2.いのちの森の鳥相

No.	科名	種名	学名	季節的移動型	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> (99.2.19♂1♀1,4.11♂1♀1)	冬鳥			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
2	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i> (99.4.11 2羽, 巣立ち直後親子:03.6.21)	留鳥				○				a	○			○										○
3	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i> (囀り:97.4.19,6.26,98.6.17~9.19,99.6.10,7.8,01.4.28,6.23,7.28,04.6.19, 求愛:97.4.19, 巣材運び:97.5.5)	留鳥		b	b	b	○	b	b	○	b	b	b	○	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b
4	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥								○	○						○							
5	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	旅鳥																						○
6	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i> (00.10.21 1羽)	留鳥					○	○	○				○				○	○						
7	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	留鳥								○			○						○	○				
9	サギ	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	留鳥			○	○	○	○	○	○	○	○			○		○		○	○	○	○	○	○
10	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i> (14.9.20 1羽)	夏鳥																			○			
11	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> (97.4.19 1羽)	留鳥		○																				
12	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i> (14.4.20 1羽)	夏鳥																		○			○	
13	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> (06.12.16 1羽死体)	冬鳥											○											
14	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (07.12.16 若1羽, 09.12.19 雄若1羽)	留鳥											○			○		○						○
16	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (99.2.19 1羽)	冬鳥			○																			
17	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i> (16.10.1 1羽)	留鳥																					○	○
18	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i> (99.10.23 1羽, 00.4.26 2羽, 10.6.16 家族群(親1羽幼鳥2羽))	留鳥				○	○	○		○		○	○		○	○	b	○	○	○	○	○	○	○
19	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i> (08.12.20 1羽)	冬鳥													○									
20	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i> (99.9.9 1羽, 02.10.14 1羽, 04.6.19 1羽)	留鳥				○			○		○	b	○	○	○	○	○			b	b	○	○	○
21	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i> (03.10.13 1羽)	留鳥								○								○						○
22	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> (98.12.9 ♀1)	留鳥			○																			
23	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (05.4.16上空で声)	旅鳥										○												
24	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (13.5.18 ♀1羽)	旅鳥																		○				
25	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i> (求愛:97.4.19)	留鳥		b	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	b	○	○		○
26	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i> (巣立ちビナ:00.6.15,6.24)	留鳥		○	○	○	a	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> (巣に出入り:03.5.17, 巣立ちビナ:03.6.21,7.17,04.6.19)	留鳥		○	○	○	○	○	b	a	a	○	b	○	b	○	○	b	○	○	a	○	○	b
28	シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i> (10.12.18 1羽, 11.2.19 1羽)	留鳥															○		○		○	○	○	○
29	シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i> (囀り:97.5.5,98.6.17,9.9,99.4.1,03.4.19,5.17, 若鳥:98.7.17 2羽, 99.6.10,7.8, 03.6.21, 巣立ちビナ:01.5.26, 16.5.2104.5.15,7.17)	留鳥		b	b	b	○	a	○	b	a	a	b	a	a	b	b	b	b	b	a	b	a	b
30	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i> (14.5.17 上空声)	留鳥																			○			
31	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i> (01.10.8 10羽)	旅鳥					○	○																
32	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i> (巣立ちビナ:99.6.10,若鳥:99.7.8)	夏鳥		○	○	a	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon urbica</i> (04.10.11)	夏鳥									○													
34	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (抱卵:16.5.3, 巣立ちビナ:00.6.24, 03.6.21,7.19,04.7.17,7.31, 若鳥:01.6.23)	留鳥		○	○	○	a	b	○	a	a	a	○	○	a	b	○	b	○	○	○	○	a	○
35	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	留鳥	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i> (06.3.18, 古巣:12.1.21, 幼鳥:13.7.20, 巣材運び:17.3.18)	留鳥											○	○		○	○	○	b	○	b	○	b	○
37	ムシクイ	メボソムシクイ上種	<i>Phylloscopus [borealis]</i> (14.10.18 1羽, 15.10.3 1羽, 16.10.17 オオムシクイ <i>Phylloscopus examinandus</i> 1羽)	旅鳥																			○	○		

No.	科名	種名	学名	季節的移動型	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
38	ムシクイ	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i> (14.5.3)	旅鳥																			○			
39	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i> (97.5.5 1羽)	旅鳥		○							○	○		○	○				○	○		○	○	○
40	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> (囀り:99.4.11,5.20,6.10, 03.4.19,4.29)	留鳥	○		○	b	○	○	○	b	○	b	○	b	○	b	b	b	b	b	b	b	b	b
41	センニュウ	シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i> (98.6.17 1羽)	旅鳥			○																			
42	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	夏鳥			○			○	○		○	○	○											
43	ヨシキリ	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i> (97.5.31 1羽, 99.10.7 1羽, 01.5.5 1羽)	旅鳥		○		○		○																
44	セツカ	セツカ	<i>Cisticola juncidis</i> (01.4.28 1羽)	留鳥						○																
45	レンジャク	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i> (09.5.15 1羽)	冬鳥															○							
46	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i> (若鳥:98.6.17,99.7.8,00.6.24,7.15,01.5.26,6.23, 巢立ちビナ:99.6.10)	留鳥		○	b	a	b	b	b	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	b	○
47	ムクドリ	コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i> (97.4.19♀1)	旅鳥		○																			○	○
48	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i> (17.1.21 1羽)	冬鳥																					○	
49	ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	冬鳥			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	ヒタキ	アカハラ	<i>Tudus chrysolaus</i> (02.4.20 2羽, 09.5.15 1羽)	旅鳥							○								○		○					
51	ヒタキ	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	ヒタキ	ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i> (98.10.11 ♂1)	旅鳥			○																			
53	ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (99.2.19♂1, 16.3.18♀1)	冬鳥			○				○	○													○	
54	ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
55	ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> (97.9.19 1羽、13.5.3 ♂1羽)	夏鳥		○		○														○		○	○	○
56	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i> (01.5.5 ♂1, 01.10.8 ♀1死体)	夏鳥						○			○			○								○	○	○
57	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (01.4.28 ♀1羽、13.5.3 ♂1羽)	旅鳥							○			○			○				○	○				○
58	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i> (巢立ちビナ:99.7.8,01.5.26,04.6.19,7.17, 若鳥:00.6.24,03.5.17)	留鳥		○	○	a	b	a	○	b	a	○	○	○	b	○	○	○	○	b	○	a	b	○
59	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> (幼鳥:02.6.15)	留鳥		○	○	○	○	○	b	○				○	○		○	○	○			○		
60	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> (00.7.15 1羽夏季の記録)	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
61	セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i> (囀り:97.4.19,6.26,98.7.17, 幼鳥:03.7.19)	留鳥		b	b	○	○	○	○	b	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
62	セキレイ	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	冬鳥		○	○					○														
63	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i> (00.1.12 12羽)	冬鳥				○																○	○	○
64	アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i> (囀り:98.4.22,6.17,99.5.20,6.10,7.8,01.4.28,03.4.19,4.29,5.21,04.5.15, 家族群:98.6.17, 巢立ちビナ:98.7.17 2羽,99.7.8)	留鳥		○	a	a	○	b	○	b	b	b	○	b	b	b	○	○	○	○	○	○	○	○
65	アトリ	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i> (13.1.19 1羽)	冬鳥																	○					
66	アトリ	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	冬鳥			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>	冬鳥					○	○	○	○	○	○		○	○	○					○			○
68	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥		○		○		○	○	○					○									
69	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i> (05.1.15)	冬鳥									○							○						
70	ホオジロ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	カモ	アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domestica</i> (帰化) (99.6.17♀1ヒナ9)				a	a	○	○	○			a	○		a	○		○	○	○	○	○		
72	ハト	ドバト	<i>Columba livia</i>	(帰化)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	(特定外来種)																					○	○
種数						26	32	32	29	34	33	34	33	32	32	29	34	30	32	28	34	32	31	34	36	40

参考記録: ジンギsp.(98.4.22 1羽), ホトトギスsp.(04.9.25 1羽), 小型ツグミsp.(00.9.30 1羽), ヒタキsp.(99.9.9, 00.10.2, 08.5.17 1羽), メボソムシクイ(園外), ホウコウチョウ *Estrilda melpoda* (00.5.27,6.15 1羽園外・帰化), エゾビタキ(02.9.28 1羽朱雀の庭), ハイタカsp(05.12.17 1羽), 大型ツグミsp(07.5.3 地鳴き), マミチャジナイ? (15.10.17 1羽), タカsp(08.12.20 1羽), ヤマガラ(10.1.16 大宮入口1羽)

「きのこ」分野の調査報告

下野義人・大藪崇司・北出雄生・平澤一男・桑原千佳・川村奈々・松岡俊将・岩瀬剛二

調査方法

1. 従来の調査方法に従って、公園内を所定のコースを歩き、野積み材、および地上から発生したきのこを観察し、写真に写した後に種名を同定した。
2. 地上生のきのこの発生場所を白地図上にマップし、発生個体数を記録した。

調査日時および調査参加者名

2004 年からきのこの調査は原則として月 1 回である。本年は春の自然観察会時に調査を行ったので、調査回数は 13 回であった。

第 1 回：3 月 25 日、午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分 調査者：桑原千佳、川村奈々、下野義人

第 2 回：4 月 8 日、午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分 調査者：平澤一男、桑原千佳、松岡俊将、下野義人

第 3 回：5 月 3 日、午前 9 時 30 分から午前 10 時 30 分 調査者：大藪崇司、平澤一男、北出雄生、桑原千佳、川村奈々、下野義人

第 4 回：5 月 20 日、午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分 調査者：平澤一男、北出雄生、桑原千佳、川村奈々、下野義人

第 5 回：6 月 17 日、午前 10 時 00 分から午前 12 時 30 分 調査者：北出雄生、桑原千佳、松岡俊将、川村奈々、下野義人

第 6 回：7 月 8 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 調査者：桑原千佳、平澤一男、松岡俊将、下野義人

第 7 回：8 月 13 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分 調査者：松岡俊将、下野義人

第 8 回：9 月 16 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分 調査者：松岡俊将、下野義人

第 9 回：10 月 21 日、午前 10 時 00 分から午前 12 時 10 分 調査者：松岡俊将、下野義人

第 10 回：11 月 11 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 50 分 調査者：平澤一男、下野義人

第 11 回：12 月 27 日、午後 3 時 00 分から午後 8 時 30 分 調査者：岩瀬剛二、大藪崇司、北出雄生、桑原千佳、川村奈々、平澤一男、下野義人

第 12 回：1 月 13 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分 調査者：桑原千佳、松岡俊将、下野義人

第 13 回：2 月 10 日、午前 10 時 00 分から午前 11 時 10 分 調査者：平澤一男、桑原千佳、北出雄生、下野義人

結果および考察

1. 2017 年に発生した菌類

「いのちの森」に 22 年間に発生した種名および年毎の発生種

を表 1 に表し、生態群毎の発生種数を表 2 に表した。

22 年間で「いのちの森」に 375 種の菌類が発生し、そのうち担子菌類は 351 種、子囊菌類が 24 種であった。担子菌類のうちヒダナシタケ目が 67 種（材上 65 種）、ハラタケ目および腹菌類が 294 種、材上生キクラゲ類および子囊菌類が 9 種発生した。2017 年に担子菌類 91 種、子囊菌類 5 種の計 96 種が発生した。そのうち材上に 42 種（材上のヒダナシタケ目、ハラタケ目、キクラゲ類、子囊菌類を含む）、地上に 54 種発生した。

2. 材上生菌類

2017 年に発生した材上生菌はヒダナシタケ目 28 種、ハラタケ目 7 種、キクラゲ類 6 種および子囊菌類 1 種の 42 種で、2016 年 37 種、2015 年 41 種、2014 年 37 種、2013 年 39 種、2012 年 35 種、2006 年とほぼ同じ種数、2009 年 31 種、2010 年 31 種より 5 種ほど多く、2007 年 24 種、2008 年 28 種、2011 年 26 種より 10 種ほど多かった。本年の新規発生種は多く、6 種あった（ニセハリタケ、ニセニクハリタケ？、ウチワタケ、チヂレタケ、クシノワシワタケ、アセハリタケ）。

材上生菌類に関しては、『バイオトープ「いのちの森」における材上生菌類』という題目で 2001 年に 5 年間の菌類の発生消長を関西自然保護機構会会報に報告したので、参考にしてほしい（下野ら、2001）。

3. 地上生菌類

地上に 22 年間で 244 種発生し、そのうち担子菌類が 220 種、子囊菌類が 24 種であった。本年は 54 種が発生し、そのうち担子菌類 48 種、子囊菌類 6 種であった。調査月毎の地上生菌類の発生種名および子実体数を表 3 に示す。なお、地上生菌類としてはヒダナシタケ目のカレエダタケ、カレエダタケモドキ、ニッケイタケ、クロラッパタケ、ハナビラタケ、キクラゲ類のロウタケ、および子囊菌類のマメザヤタケを含めた。ナラタケ、ニガクリタケ、一部のクヌギタケ属等材から発生するものは材上生菌類として扱った。

いのちの森の地上生菌類は夏と秋のどちらかに大きな発生ピークを示すことが多い。本年は夏（7 月）に 27 種、秋（10 月）に 20 種発生したので、夏の大きな発生ピークと秋のピークが見られた。発生回数の多かったのは黒いトリュフ、アジアカロセイヨウシウロの 8 回で、次に多かったのは発生回数 4 回のマツカサキノコモドキで、キツネタケモドキとキチャハツは 3 回であった。年 3 回発生した種は 2016 年に 12 種（キツネタケモドキ、ウラスジチャワンタケ、ニオイコベニタケ、テングツルタケ、ツチナメコ、キヌハダニセトマヤタケ、アセタケ属、カラムラサキハツ近縁種、ベニタケ属ヒダ黄色、カレエダタケモ

表 1. 2017 年に「いのちの森」に発生した菌類（分類は今関 & 本郷（1987）に基づく）

番号	和名	学名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	生態 特性	新規 発生種	
1	ヒラタケ	<i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacq. : Fr.) Kummer	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	材上		
2	ウスヒラタケ	<i>Pleurotus pulmonarius</i> (Fr.) Quel.	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	材上		
3	オオヒラタケ	<i>Pleurotus cystidosus</i> O.K.Miller.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
4	アラゲカワキタケ	<i>Panus rudis</i> Fr.	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
5	イタチナミハタケ	<i>Lentinellus ursinus</i> (Fr.) Kuhn.	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上		
6	マツオウジ	<i>Lentinus lepideus</i> (Fr. : Fr.) Fr.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	材上		
7	シイタケ	<i>Lentinus edodes</i> (Berk.) Sing.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	材上		
8	スエヒロタケ	<i>Schizophyllum commune</i> Fr. : Fr.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
9	ベニヒガサ	<i>Hygrocybe cantharellus</i> (Schw.) Murrill	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
10	ミズゴケノハナ	<i>Hygrocybe coccineocrenata</i> (P.D. Orton) M.M. Moser	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上	○	
11	アカヤマタケ	<i>Hygrocybe conica</i> (Scop.:Fr.) Kummer	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○	地上		
12	アカヤマタケ属	<i>Hygrocybe</i> sp.	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	地上		
13	アカヤマタケ(カサ黄色)	<i>Hygrocybe conica</i> (Scop.:Fr.) Kummer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	地上		
14	ハタケシメジ	<i>Lyophyllum decastes</i> (Fr.:Fr.) Sing.	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	地上		
15	ウラムラサキ	<i>Laccaria amethystea</i> (Bull.) Murr.	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
16	カレバクツネタケ	<i>Laccaria vinaceoavellanea</i> Hongo	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上		
17	クツネタケモドキ	<i>Laccaria ohiensis</i> (Mont.) Sing.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上		
18	ヒメクツネタケモドキ	<i>Laccaria tortilis</i> (Bolt.) S. F. Gray	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
19	オオクツネタケ	<i>Laccaria bicolor</i> (R.Mare.) Orton	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	地上		
20	クロクツネタケ	<i>Laccaria nigra</i> Hongo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上		
21	ツキヨタケ	<i>Lampteromyces japonicus</i> (Kawam.) Sing.	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
22	カヤタケ属	<i>Clitocybe</i> sp.	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	地上		
23	シロヒメカヤタケ	<i>Clitocybe candicans</i> (Pers.:Fr.) Kummer	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上		
24	コカブイヌシメジ	<i>Clitocybe. fragrans</i> (With.: Fr.) Kummer	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
25	コムラサキシメジ	<i>Lepista sordida</i> (Schum. : Fr.) Sing.	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
26	ムラサキシメジ	<i>Lepista nuda</i> (Bull.: Fr.) Cooke	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	地上		
27	ハタシメジ?	? <i>Lepista nuda</i> Irina (Fr.) Biglow	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
28	クマシメジ	<i>Tricoloma terreum</i> (Schaeff.:Fr.) Kummer	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	地上		
29	ナラタケ	<i>Armillariella mella</i> (Vahl. : Fr.) Kast.	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
30	オリーブサカズキタケ	<i>Gerronema nemorale</i> Har. Takahashi	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	材上		
31	コザラミノシメジ	<i>Melanoleuca melaleuca</i> (Pers. : Fr.) Murr.	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
32	クロサカズキシメジ	? <i>Pseudoclitocybe cyathiformis</i> (Bull.:Fr.) Sing.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
33	ニオイカレバタケ	<i>Collybia ioecephala</i> (Berk. &Curt.) Sing.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	地上		
34	モリノカレバタケ	<i>Collybia dryophila</i> (Bull. : Fr.) Kummer	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	地上		
35	ワサビカレバタケ?	? <i>Collybia peronata</i> (Bolt. : Fr.) Kummer	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上		
36	モリノカレバタケ属1	<i>Collybia</i> sp1.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
37	モリノカレバタケ属2	<i>Collybia</i> sp2.	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
38	モリノカレバタケ属3	<i>Collybia</i> sp3.	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
39	アマタケ	<i>Collybia confluence</i> (Bolt.:Fr.) Kummer.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
40	モリノカレバタケ属(赤色)	<i>Collybia</i> sp	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	地上		
41	タマツキカレハタケ	<i>Collybia cookei</i> (Bres.) J. D. Arnold	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
42	アカチャツエタケ	<i>Collybia neofusipes</i> Hongo	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
43	エセオリミキ	<i>Collybia butyracea</i> (Bull.:Fr.) Quel.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
44	ドクササコ?	? <i>Paraleptostipsis acromelalg</i> a (Ichimura) Vizzini	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	地上		
45	シロホウライタケ属	<i>Marasmiellus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	材上地上		
46	サカズキホウライタケ属	<i>Micromphale</i> sp.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
47	クロゲシジミタケ	<i>Resupinatus trichotis</i> (Pers.) Sing.	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	材上		
48	ヒメムキタケ	<i>Hohenbuehelia reniformis</i> (G. Meyer: Fr.) Sing.	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	材上		
49	ワサビタケ	<i>Panellus stypticus</i> (Bull. : Fr.) Karst.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	材上		
50	ネツタイヌメリタケ	<i>Oudemansiella canarii</i> (Jungth.) Hohnel	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
51	ツエタケ 小型	<i>Oudemansiella radicata</i> (Relhan:Fr.) Sing.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	地上		
52	ツエタケ属	<i>Oudemansiella</i> sp.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
53	ヒロヒダタケ	<i>Oudemansiella platyphylla</i> (Pres.:Fr.) Moser in Gams.	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
54	マツカサキノコモドキ	<i>Strobilurus stephanocystis</i> (Hora) Sing.	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上		
55	ヒメホウライタケ	<i>Marasmius graminum</i> (Libert) Berk.	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	地上		
56	ホウライタケ属(オオホウライタケ?)	<i>Marasmius</i> sp.	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	地上		
57	ハリガネオチバタケ	<i>Marasmius siccus</i> (Schw.) Fr.	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	地上		
58	ハナオチバタケ	<i>Marasmius pulcherripes</i> Peck	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	地上		
59	ヤマウバノカミノケ	<i>Marasmius</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	地上		
60	ミヤコホウライタケ	<i>Marasmius echinatus</i> Singer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	地上		
61	ニセホウライタケ近縁種	? <i>Crinipellis stipitaria</i> (Fr.) Pat.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
62	シラウメタケモドキ	<i>Hemimygena delicatella</i> (Peck) Sing.	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
63	チシオタケ	<i>Mycena haematopoda</i> (Pers. : Fr.) Kummer	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-	材上		
64	アカチシオタケ	<i>Mycena crocata</i> (Schrad. : Fr.) Kummer	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	材上		
65	クヌギタケ属1	<i>Mycena</i> sp.	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
66	ニオイアシナガタケ	<i>Mycena amygdalina</i> (Pers.) Sing.	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	地上		
67	アシナガタケ	<i>Mycena polygramma</i> (Bull.: Fr.) S. F. Gray	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	地上		
68	アクニオイタケ	<i>Mycena alcalina</i> (Fr.: Fr.) Kummer	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	材上		
69	クヌギタケ属2(黄色)	<i>Mycena</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
70	サクラタケ	<i>Mycena pura</i> (Pers. : Fr.) Kummer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	地上		
71	ヒメカバイロタケ属	<i>Xeromphalina</i> sp.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
72	エノキタケ	<i>Flammulina velutipes</i> (Curt. : Fr.) Sing.	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							

[illegible]

番号	和名	学名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	生態 的特 性	新規 発生 種	
151	アシナガトマヤタケ	<i>Inocybe casimiri</i> Vel.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
152	コブアセタケ	<i>Inocybe nodulospora</i> Kobay.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-	地上		
153	シロニセトマヤタケ	<i>Inocybe umbratica</i> Quel.	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
154	カブラアセタケ	<i>Inocybe asterospora</i> Quel.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	地上		
155	カブラアセタケ近縁種	<i>Inocybe asterospora</i> Quel. Related species1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
156	カブラアセタケ近縁種 小	<i>Inocybe asterospora</i> Quel. Related species2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
157	キヌハダニセトマヤタケ	<i>Inocybe paludinella</i> (Peck) Sacc.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上		
158	キヌハダトマヤタケ?	<i>Inocybe cookei</i> Bres.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	地上		
159	ハイチャトマヤタケ	<i>Inocybe lanuginella</i> (Schroet. in Cohn) Konr. & Maubl.	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
160	アシボソトマヤタケ	<i>Inocybe calospora</i> Quel.	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	地上		
161	ハリアセタケ	<i>Inocybe calospora</i> f. minor Kobay.	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
162	アセタケ属	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
163	クロトマヤタケモドキ	<i>Inocybe cincinnata</i> (Fr.:Fr.) Quel.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
164	ササクレキヌハダトマヤタケ	<i>Inocybe hirtella</i> Bres.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
165	フタツミアセタケ	<i>Incybe bispora</i> Hongo	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
166	クロニセトマヤタケ	<i>Inocybe lanuginosa</i> (Bull.:Fr.) Kummer	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
167	アセタケ属(クロトマヤタケ節)	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上		
168	アセタケ属(シロニセトマヤタケ?)	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上		
169	アセタケ属(ニセアセタケ?)	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	地上		
170	シラゲアセタケ	<i>Inocybe maculata</i> Boud.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
171	モモエノトマヤタケ	<i>Inocybe leptoclada</i> Takahito Kobayashi & Courtecuisse	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	地上		
172	ヒメアセタケ	<i>Inocybe senkawaensis</i> Kobayasi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上		
173	コブミノオトマヤタケ?	? <i>Inocybe oblectabilis</i> (Britzelm.) Sacc., Syll.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
174	カバイロトマヤタケ	<i>Inocybe aureostipes</i> Kobayasi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	地上		
175	アセタケ属 オオキヌハダトマヤタケ?	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
176	白いアセタケ属	<i>Inocybe</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上	○	
177	トビチャニセフウセンタケ近縁	? <i>Cortinarius fasciatus</i> (Scop.) Fr.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	地上		
178	サザナミニセフウセンタケ	<i>Cortinarius obtusus</i> (Fr.) Fr.	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
179	フウセンタケ属1	<i>Cortinarius</i> sp. 1	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	地上		
180	フウセンタケ属2	<i>Cortinarius</i> sp. 2	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
181	ニセフウセンタケ?	? <i>Cortinarius duracinus</i> Fr.	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	地上		
182	ニセマンジュウガサ	<i>Cortinarius allutus</i> Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○?	-	-	-	-	-	-	-	地上		
183	フウセンタケ属3	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
184	フウセンタケ属 Telanonia属	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	地上		
185	フウセンタケモドキ	<i>Cortinarius psudopurpurascens</i> Hongo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	地上		
186	フウセンタケ属(アセタケ似小型)	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	○	-	地上		
187	フウセンタケ属(アセタケ似やや大型)	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
188	フウセンタケ属(シラガフウセンタケ?)	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
189	ナツカワムラフウセンタケ	<i>Cortinarius cf. purpurascens</i> f. <i>eumarginataminor</i> Hnery	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	地上		
190	フウセンタケ属 <i>C. balanstinus</i> 近縁	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	地上		
191	カワムラフウセンタケ近縁	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
192	ツバムラサキフウセンタケ	<i>Cortinarius torvus</i> (Fr.:Fr.)Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	地上		
193	フウセンタケ属 <i>C. collinitus</i> 近縁	<i>Cortinarius</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
194	ヒメワカフサタケ	<i>Hebeloma sacchariolens</i> Quel.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
195	ワカフサタケ属	<i>Hebeloma</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
196	フユノコガサ	<i>Galerina heterocystis</i> (Atk.) A. H. Smith & Sing.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
197	ミドリシギタケ	<i>Gymnopilus aeruginosus</i> (Peck.) Sing.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	材上		
198	チャツムタケ属	<i>Gymnopilus</i> sp.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
199	ヒメアジロガサモドキ	<i>Galerina helvoliceps</i> (Berk. & Curt.) Sing.	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
200	コレラタケ	<i>Galerina fasciculata</i> Hongo	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
201	ピロードムクエタケ属	<i>Simocybe</i> sp.	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	材上		
202	クリゲノチャヒラタケ	<i>Crepidotus badiofloccosus</i> Imai	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
203	チャヒラタケ	<i>Crepidotus mollis</i> (Schaeff. : Fr.) Kummer	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
204	サケバタケ	<i>Paxillus curtisii</i> Berk. in Berk. & Curt.	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
205	ムツノウラベニタケ属	<i>Rhodocybe</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
206	ヌメリイグチ	<i>Suillus luteus</i> (L. : Fr.) S. F. Gray	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
207	チチアワタケ	<i>Suillus granulatus</i> (L. : Fr.) O. Kuntze	-	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
208	ヤマドリタケモドキ	<i>Boletus reticulatus</i> Schaeff.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
209	コウジタケ	<i>Boletus fraternus</i> Peck	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	地上		
210	コゲチャイロガワリ	<i>Boletus umbriniporus</i> Hongo	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
211	ミドリニガイグチ	<i>Tylopilus virens</i> (Chiu) Hongo	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
212	アワタケ?	<i>Xerocomus subtomentosus</i> ?	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	地上		
213	キッコウアワタケ	<i>Xerocomus chysenteron</i> (Bull.) Quel.	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	地上		
214	クロアザアワタケ	<i>Xerocomus nigromaculatus</i> Hongo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	地上		
215	アミタケ	<i>Suillus bovinus</i> (Fr.) Kuntze	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	地上		
216	クリイロイグチ	<i>Gyroporus castaneus</i> (Bull. : Fr.) Quel.	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
217	ピロードクリイロイグチ	<i>Gyroporus punctatus</i> Lar.N. Vassiljeva	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	地上		
218	イグチ属(黒色)	<i>Boletus</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	地上		
219	ミヤマベニイグチ近縁	<i>Boletellus obscureoccineus</i> (v. Höhn.) Sing	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	地上		
220	キチャハツ	<i>Russula sororia</i> (Fr.) Romell	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
221	ヒナベニタケ	<i>Russula kansaiensis</i> Hongo	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	地上		
222	ニオイコベニタケ	<i>Russula bella</i> Hongo	-	-	-																						

番号	和名	学名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	生態 的特 性	新規 発生 種	
226	ヒナベニタケ近縁種(ヒダ黄)	?Russula aff. kansaiensis Hongo	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	○	地上		
227	クシノハタケモドキ	Russula pectinatoides Peck	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	地上		
228	ベニタケ属(R.ionochlora?)	R.ionochlora Romagn.	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
229	ウグイスハツ	Russula heterophylla (Fr.) Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	地上		
230	カワリハツ	Russula cyanoxantha (Sch.) Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	地上		
231	ケショウハツ	Russula violeipes Quel.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	地上		
232	カラムラサキハツ近縁種	Russula aff. omiensis Hongo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	地上		
233	ベニタケ属 カサ白	Russula sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	地上		
234	クロハツモドキ近縁種	Russula aff. densifolia Gill.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	地上		
235	ベニタケ属 ヒビワレシロハツ似	Russula sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上	○	
236	ベニタケ属 R. mariae?	?Russula mariae	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上	○	
237	ヒロハチチタケ	Lactarius hygrohoroides Berk. & Curt.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	地上		
238	アカシミヒメチチタケ	Lactarius sp.	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	地上	
239	ニオイワチチタケ	Lactarius subzonarius Hongo	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上		
240	アカハツ	Lactarius akahatsu Tanaka	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
241	ハツタケ	Lactarius hatsudake Tanaka	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
242	チョウジチチタケ	Lactarius quietus (Fr.) Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
243	キチチタケ近縁種	Lactarius aff. chrysorrheus Fr.?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上		
244	クロラツバタケ	Craterellus cornucopioides	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上		
245	カレエダタケ	Clavulina cristata (Holmsk. : Fr.) Schroet.	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	地上	
246	カレエダタケモドキ	Clavulina rugosa (Bull. : Fr.) Schroet.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	地上	
247	ハイロカレエダタケ	Clavulina cinerea (Bull. : Fr.) Schroet.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	地上		
248	シロソウメンタケ	Clavaria vermicularis Swartz:Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上		
249	フサヒメホウキタケ?	?Clavicornia pyxidata (Pers.: Fr.) Doty	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
250	ホウキタケの仲間	Ramaria sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	材上		
251	ヒメホウキタケ?	?Phaeoclavulina flaccida	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	地上		
252	アイコヤクタケ	Pulcherrimum caeruleum (Lamarck ex St.Amans) Parmasto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	材上		
253	ケシウウロコタケ	Punctularia strigosozonata (Schweinitz) Talbot	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	材上		
254	シワタケ	Merullius tremellosus Schrad. : Fr.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
255	チチレタケ?	?Plicaturopsis crispa (Pers.) D.A. Reid	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	○	
256	カミウロコタケ	Lopharia crassa (Leveille) Boidin	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	材上		
257	クシノハシワタケ	Lopharia cinerascens (Schwein.) G. Cunn.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上	○	
258	チャウロコタケ	Stereum ostrea (Bl. et Nees) Fr.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
259	チウロコタケ?	?Stereum gausapatum (Fr.) Fr.□	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	材上		
260	モミジウロコタケ	Xylobolus spectabilis (Klotz.) Boiden	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	材上		
261	ハナビラタケ	Sparasis crispa Wulf. : Fr.	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
262	アラゲニクハリタケ	Steccherinum rhois (Schw.) Banker	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上		
263	ニクハリタケ	Steccherinum ochraceum (Pers. ex J.F. Gmel.) Gray	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上	○	
264	ニセニクハリタケ	Steccherinum murashkinskyi (Burt) Maas Geest.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上	○	
265	ミナミコメバタケ?	?Hyphoderma odontiaeforme Boiden & Berthet	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	材上		
266	ウスバタケ	Irpex lacteus Fr.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	材上		
267	アセハリタケ	Climacodon pulcherrimus	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	材上	○
268	アミシギタケ	Polyporus arcularius Batsch. : Fr.	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	材上	
269	アシゲロタケ	Polyporus badius (Pers. ex S.F. Gray) Imazeki, comb.nov.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	材上		
270	キツシグロタケ(キツタイシグロタケ近縁)	Polyporus leprieurii Mont. ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	材上	
271	ハチノスタケ	Polyporus alveolaris (DC. ex Fr.) Bond. et Sing.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
272	サビハチノスタケ	Echinochaete ruficeps (Ber.&Br.) Ryvarden	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
273	ツヤウチワタケモドキ	Microporus subaffinis (Lloyd) Imaz.	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
274	ヒラフスベ	Laetiporus versisporus (Lloyd) Imazeki	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
275	アオゾメタケ	Oligoporus caesius (Schrad. : Fr.) Gilbn. et Ryv.	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
276	アオゾメタケ(広義)	Oligoporus caesius	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
277	オシロイタケ	Oligoporus tephroleucus (Fr.) Gilbn. et Ryv.	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	材上		
278	オシロイタケ属	Oligoporus sp.	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
279	オツネンタケモドキ	Polyporus brunalis (Fr.) Karst.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
280	ヒロタケ	Pycnoporus coccineus (Fr.) Bond. et Sing.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	材上	
281	ヒロハノキカイガラタケ	Gloeophyllum subferrugineum (Berk.) Bond.	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
282	コゲイロカイガラタケ	Gloeophyllum abietinum (Fr.) Krast.	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
283	ホウロクタケ	Daedalea dickinsii(Ber.ex Cke.)	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
284	ニオイヒメアマタケ	Daedalea malicola (B. et C.) Aoshima	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	材上		
285	ヒメシロアマタケ	Antrodia albidia Fr.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
286	オオチリメンタケ	Trametes gibbosa (Pers. : Fr.) Fr.	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
287	ミノタケ?	Trametes cervina (Schw.:Fr.) Bres.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	材上		
288	クジラタケ	Trametes orientalis (Yasuda) Imazeki	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
289	カワラタケ	Coriolus versicolor (L. : Fr.) Quel	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
290	アラゲカワラタケ	Coriolus hirsutus (Wulf. : Fr.) Quel.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
291	ウチワタケ	Microporus affinis (Blume et Nees: Fries) O.Kuntze	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	○	
292	ニクウスバタケ	Coriolus brevis (Berk.)Aoshima	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
293	フルイカワラタケ近縁種	?Coriolus pinsitus (Fr.)Pat.	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上		
294	カイガラタケ	Lenzites betulina (L. : Fr.) Fr.	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	材上		
295	ハカワラタケ	Trichaptum bifforme (Fr.) Ryverden	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	材上		
296	シラゲタケ	Trichaptum byssogenum (Jungh.) Ryvarden	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
297	エビウラタケ	Gloeoporus dichrous (Fr.) Bresadola	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-</															

番号	和名	学名	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	生態 特性	新規 発生種
301	ニクイロアナタケ	<i>Junghuhnia nitida</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
302	ウズラタケ	<i>Truncospora ochroleuca</i> (Berk.) Pilat	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
303	レンガタケ?	<i>Heterobasidion insularis</i> Tukuda	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	材上	
304	マンネンタケ	<i>Ganoderma lucidum</i> (Leys. : Fr.) Karst.	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	材上	
305	スルメタケ	<i>Rigidoporus lineatus</i>	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上	
306	コフキサルノコシカケ	<i>Elfvigia applanata</i> (Pers.) Karst.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
307	ニツケイタケ	<i>Coltricia cinnamomea</i> (Pers.) Murr.	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
308	アズマタケ	? <i>Onnia vallata</i> (Berk.) Aoshima	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
309	ワヒダタケ	<i>Cyclomyces fuscus</i> Kunze ex Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
310	ダイダイタケ	<i>Inonotus xeranticus</i> (Berk.) Imaz. et Aoshi.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
311	ネンドタケ	<i>Phellinus gilvus</i> (Schw. : Fr.) Pat.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	材上	
312	ネンドタケモドキ	<i>Phellinus gilvipes</i> (Lloyd) Imaz.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	材上	
313	カワウソタケ	<i>Inonotus mikadoi</i> (Lloyd) Gilb. & Ryvarden	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	材上	
314	ウロコタケの仲間	<i>Stereaceae</i>	-	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	材上	
315	ニカワオシロイタケ属	<i>Antrodiella</i> sp.	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
316	ヒメカタショウロ	<i>Scleroderma areolatum</i> Ehrenb.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	地上	
317	コニセショウロ	<i>Scleroderma reae</i> Guzman	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	地上	
318	シロニセショウロ	<i>Scleroderma albidum</i>	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	地上	
319	ハマニセショウロ	<i>Scleroderma bovista</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	地上	
320	ニセショウロ属	<i>Scleroderma</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
321	タマネギモドキ	<i>Scleroderma sepa</i> Pers.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	地上	
322	ノウタケ	<i>Calvatia craniiformis</i> (Schw.) Fr.	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	地上	
323	オオノウタケ	<i>Calvatia boninensis</i> S. Ito et Imai	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
324	ヒメホコリタケ	<i>Lycoperdon hiemale</i> Bull. : Pers. em. Vitt.	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
325	チビホコリタケ	<i>Lycoperdon pussillum</i> Batsch : Pers.	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
326	コゲホコリタケ(訂正)	<i>Lycoperdon molle</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	地上	
327	クロホコリタケ	<i>Lycoperdon nigrescens</i> Pers.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上	
328	セイタカホコリタケ	<i>Clavatia excipuliformis</i> (Sch.)Perdeck	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	地上	
329	ホコリタケ属	<i>Lycoperdon</i> sp	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	地上	
330	アラゲホコリタケモドキ?	<i>Lycoperdon pedicellatum</i> Pers.?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	地上	
331	エリマキツチグリ	<i>Geastrum triplex</i> (Jungh.) Fisch.	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	地上	
332	ヒナツチガキ	<i>Geastrum mirable</i> (Mont.) Fisch.	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	地上	
333	シロツチガキ	<i>Geastrum fimbriatum</i> (Fr.) Fisch.□	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上	
334	コツチグリ	<i>Astraeus hygrometricus</i> var. <i>koreanus</i> V.J. Stanek	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
335	ツチグリ	<i>Astraeus hygrometricus</i> (Pers.) Morg.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	地上
336	サンコタケ	<i>Pseudocolus schellenbergiae</i> (Sumst.) Johnson	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上	
337	カニノツメ	<i>Lindieria bicolumnata</i> (Lloyd)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	地上	
338	ツマミタケ	<i>Lysurus mokusin</i> (L.:Pers.)Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	地上	
339	キノツネノタイマツ	<i>Phallus rugulosus</i> (Fisch.) O. Kuntze	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
340	スッポンタケ	<i>Phallus impudicus</i> Persoon	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	地上	
341	シロツブタケ	<i>Hymenogaster tener</i> Berk. et Br.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上	
342	コイシタケ?	<i>Hydnangium carneum</i> Wallroth	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	地上	
343	シロキクラゲ	<i>Tremella fuciformis</i> Berk.	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	材上	
344	ハナヒラニカワカタケ	<i>Tremella foliacea</i> Pers. : Fr.	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	材上	
345	ロウタケ	<i>Sebacina incrustans</i>	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	草上	
346	コガネニカワタケ	<i>Tremella mesenterica</i> Retz.: Fr.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	材上	
347	キクラゲ	<i>Auricularia auricula</i> (Hook.) Underw.	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
348	アラゲキクラゲ	<i>Auricularia polytricha</i> (Mont.) Sacc.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
349	ヒメキクラゲ	<i>Exidia glandulosa</i> Fr.	-	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
350	タマキクラゲ	<i>Exidia uvapassa</i> Lloyd	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
351	ツノマタタケ	<i>Guepinia spathularia</i> (Schw.) Fr.	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	材上	
352	クオアシボソポリリュウ	<i>Helvella atra</i> Koenig : Fr.	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	地上	
353	クラガタノポリリュウタケ	<i>Helvella ephippium</i> Lev.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	地上	
354	クロノポリリュウタケ	<i>Helvella lacunosa</i> Afzel : Fr.	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	地上	
355	ナガエノチャワンタケ	<i>Helvella macriopus</i> (Pers.) Karst.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	地上	
356	ウラスジチャワンタケ	<i>Helvella acetabulum</i> (L.) Quel	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
357	シロスズメノワン	<i>Humaria hemisphaerica</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	地上	
358	シャグマアミガサタケ	<i>Gyromotira esculenta</i> (Pers.) Fr.	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
359	トガリアミガサタケ	<i>Morchella conica</i> Pers.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	地上	
360	<i>Trichophaea cuspidata</i>	<i>Trichophaea cuspidata</i>	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
361	ズキンタケ	<i>Leotia lubrica</i> (Scop.: Fr.) Pers.f. lubrica	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
362	アラゲコベニチャワンタケ	<i>Scutellinia scutellata</i> (L.) Lambotte	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
363	ニセキンカクアカビョウタケ	<i>Diccephalospra rufocornea</i> (Berk. et Br.) Spooner	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
364	チャワンタケ属	<i>Peziza</i> sp.	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
365	チャワンタケ属	<i>Peziza</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
366	チャワンタケ属(黒色)	<i>Peziza</i> sp.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	地上	
367	オオチャワンタケ	<i>Peziza vesiculosa</i> Boud.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	地上	
368	マメザヤタケ	<i>Xylaria polymorpha</i> (Pers.) Grev.	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	材上	
369	クロコブタケ	<i>Hypoxylon truncatum</i> (Schwein.;Fr.) J.H. Miller	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
370	ジュズテングノメシガイ	<i>Geoglossum smile</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	地上	
371	チャコブタケ	<i>Daldinia concentrica</i> (Bott.) Ces. et de Not.	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材上	
372	ドングリキンカクキン	<i>Ciboria batschiana</i> (Zopf) N. F. Buchw.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	地上	
373	アジアクロセイウショウロ	<i>Tuber hymalayense</i> B.C. Zhang & Minter	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	地上	
374	オオゼミタケ	<i>Cordyceps heteropoda</i> Kobayasi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-</														

表 2. 22 年間に「いのちの森」に発生した生態群毎の菌類種数

	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	総発生 種数
材上のヒダナシタケ目	10	16	31	30	34	34	29	20	18	13	16	13	15	21	21	12	21	22	21	25	19	28	67
材上のハラタケ目	2	10	29	35	33	30	20	16	15	6	7	5	6	6	4	7	8	9	8	8	11	7	50
材上のキクラゲ類、子囊菌類	0	4	7	6	12	7	6	6	4	3	8	6	7	4	7	7	6	8	8	8	7	7	14
地上生のきのこ*	3	7	42	65	70	70	53	57	53	32	53	47	50	52	56	58	63	53	34	64	67	54	244
(菌根性のきのこ)	1	3	16	30	35	34	24	23	22	21	28	15	25	24	28	28	32	30	19	36	40	33	108
総 数	15	37	109	136	149	141	108	99	90	54	84	71	78	83	88	84	98	92	71	105	104	96	375

*:ヒダナシタケ目(ニッケイタケ、カレエダタケ、カレエダタケモドキ、クロラッパタケ、ハナピラタケ)、キクラゲ類(ロウタケ)、および子囊菌(マメザヤタケ)を含む

ドキ、コニセシヨウロ、ヒメホウライタケ近縁種)で非常に多かったが、今年はキチャハツとキツネタケモドキの 2 種であった。キツネタケモドキの発生回数は 3 回、ヒメワカフサタケは 2 回であり、ヒメカタシヨウロは発生しなかった。マントカラカサタケとササクレヒトヨタケはともに本年も発生しなかった。エリマキツチグリは本年も発生しなかった (2016 年, 2015 年と 2014 年 0 回, 2013 年 1 回, 2012 年 1 回, 2011 年 5 回)。

発生回数の少ない種 (1~2 回) は例年 8 割から 9 割を占めているが、本年は 54 種中 50 種 (全発生種数の 92.6%) で、占める割合が極めて高かった。発生回数の少ない種は 2016 年 56 種 (68.7%), 2015 年 56 種 (87.5%), 2014 年 31 種 (91.2%), 2013 年 48 種 (90.6%), 2012 年 52 種 (82.5%), 2011 年 44 種 (75.8%), 2010 年 40 種 (71.4%), 2009 年 48 種 (92%), 2008 年 44 種 (88%), 2007 年 89%, 2006 年 42 種 (83%), 2005 年 26 種 (88%), 2004 年 43 種 (80%), 2003 年 34 種, 2002 年 34 種, 2001 年 46 種であっ

た。

本年の総発生子実体数は 1315 個体で、2014 年 496 個体のほぼ 3 倍で、2016 年 1515 個体, 2014 年 1402 個体, 2013 年 1249 個体, 2010 年 1148 個体, 2009 年 1140 個体, 2007 年 1224 個体とほぼ同じで、2008 年 2540 個体, 2006 年 2329 個体, 2005 年 2431 個体, 2011 年 1798 個体, 2012 年 2295 個体の約 2 分の 1 で、2004 年 4804 個体のほぼ 3 分の 1 であった。キツネタケモドキは 2006 年 906 個体 (全体に対する割合が 39%) から、2007 年 88 個体 (同 7%), 2008 年 71 個体 (5.8%), 2009 年 28 個体 (2.5%), 2010 年 13 個体 (1.1%) に徐々に減少し、2011 年に 28 個体 (1.6%), 2012 年に 14 個体 (0.6%), 2013 年に 14 個体 (1.1%), 2014 年に 4 個体 (0.8%), 2015 年に 37 個体 (2.6%), 2016 年に 32 個体 (2.1%), 本年は 28 個体 (2.1%) 発生した。ヒメカタシヨウロは発生しなかった (2016 年 1 個, 2015 年 0 個体, 2014 年 0 個体, 2013 年 2 個体, 2012 年 75 個体, 2011 年 71 個体, 2010 年 56 個体, 2009 年

表 3. 2017 年に発生した地上生菌類

番号	生態的特 徴	種名	3/25	4/8	5/3	5/20	6/17	7/8	8/13	9/16	10/21	11/11	12/27	1/13	2/10	計	回数	割合	新規発 生種
1	菌根性	キツネタケモドキ					1	7			20					28	3	2	
2	腐生性	アカヤマタケ									12					12	1	1	
3	腐生性	モリンカレバタケ属									10					10	1	1	
4	腐生性	ヒメホウライタケ近縁						20			5					25	2	2	
5	腐生性	マツカサキノモドキ										11	15	5	1	32	4	2	
6	腐生性	ミズゴケノハナ						1								1	1	0	○
7	腐生性	キツネノハナガサ						2								2	1	0	
8	腐生性	オキナタケ科													1	1	1	0	
9	菌根性	アカハテングタケ						1								1	1	0	
10	菌根性	チャタマゴタケ						1								1	1	0	
11	腐生性	ツエタケの仲間						1								1	1	0	
12	腐生性	ミイノモミウラタケ近縁カガノモミウラタケ		1												1	1	0	○
13	腐生性	イッポシシメジ属小	1													1	1	0	○
14	腐生性	イタチタケ?					7									7	1	1	
15	腐生性	ナヨタケ属コナヨタケ?					5									5	1	0	
16	腐生性	ナヨタケ属		1			10									11	2	1	
17	腐生性	ツチナメコ小														2	1	0	
18	菌根性	カブラアセタケ近縁						2								2	1	0	
19	菌根性	キヌハダニセトマヤタケ						85			20					105	2	8	
20	菌根性	アセタケ属						5								5	1	0	
21	菌根性	シロトマヤタケ?					50	4								54	2	4	
22	菌根性	白いアセタケ属						20								20	1	2	○
23	菌根性	アセタケ属大オオキヌハダトマヤタケ						1								1	1	0	
24	菌根性	ツバムラサキフウセンタケ									20					20	1	2	
25	菌根性	フウセンタケ属									40					40	1	3	
26	菌根性	フウセンタケ属サザナミセフウセンタケ?									1					1	1	0	
27	菌根性	フウセンタケ属2									10					10	1	1	
28	菌根性	フウセンタケ属小									19					19	1	1	
29	菌根性	ナツノカワムラフウセンタケ									5					5	1	0	
30	菌根性	フウセンタケモドキ									197					197	1	15	
31	菌根性	ヒメワカフサタケ									321		16			337	2	26	
32	菌根性	ワカフサタケ属									61					61	1	5	
33	菌根性	クロアザアワタケ						6								6	1	0	
34	菌根性	ピロードクリイロイグチ						1								1	1	0	
35	菌根性	ニオイコベニタケ						12			4					16	2	1	
36	菌根性	キチャハツ						4	2		4					10	3	1	
37	菌根性	カラムラサキハツ近縁種		1	2											3	2	0	
38	菌根性	ベニタケ属ヒダ黄色						1								1	1	0	
39	菌根性	ベニタケ属白									1					1	1	0	
40	菌根性	ベニタケ属 ヒビワレシロハツ似?						1								1	1	0	
41	菌根性	ベニタケ属mariae?						1								1	1	0	○
42	菌根性	アカシミヒメチタケ						1								1	1	0	
43	菌根性	ニオイワチタケ						1								1	1	0	
44	菌根性	ツチグリ												4	1	5	2	0	
45	腐生性	カレエダタケモドキ						2								2	1	0	
46	腐生性	カレエダタケ											1			1	1	0	
47	腐生性	シロソウメンタケ									3					3	1	0	
48	菌根性	コニセシヨウロ						25								25	1	2	
49	菌根性	シロツブタケ?											1			1	1	0	
50	腐生性	ウラスジチャウンタケ				22										22	1	2	
51	菌根性	アジアカロセイヨウシヨウロ			1	1				38	26	17	16	17	8	124	8	9	
52	虫寄生性	オオゼミタケ				2										2	1	0	
53	腐生性	ノボリリュウタケの仲間										1				1	1	0	
54	腐生性	ズキンタケ						60			10					70	2	5	
発生子実体数			2	5	25	72	1	269	2	38	787	46	31	26	11	1315	54	100	6
発生種数			2	4	3	4	1	27	1	1	20	5	2	3	4				

3 個体, 2008 年 57 個体, 2007 年 64 個体, 2006 年 163 個体, 2005 年 581 個体). 本年のヒメワカフサタケの発生数は 337 個体 (全体に対する割合は 25.6%) で 2005 年の 581 個体に次ぐ、大量の発生であった。2006 年 5 個体 (0.2%), 2008 年 29 個体 (同 2.4%), 2009 年 23 個体 (2.0%), 2011 年 28 個体 (1.6%), 2012 年 15 個体 (0.7%), 2013 年 1 個体 (0.1%), 2014 年 4 個体 (0.3%), 2015 年 4 個体 (0.3%), 2016 年 13 個体 (0.9%) 発生した。なお、2007 年と 2010 年には発生しなかった。

発生子実体数が一番多かったのは、発生回数 2 回, 337 個体 (22.6%) のヒメワカフサタケであった。遷移の初期に発生されると思われるこのきのこがこれほど大量に発生したことは注目される。次に多かったのは、フウセンタケ属のフウセンタケモドキ (1 回, 197 個体; 15.0%) であった。アジアカロセイウシウロは発生回数 8 回, 124 個体 (9.4%) であった。ズキンタケは 2 回, 70 個体 (5.3%) 発生した。2012 年に発生回数 2 回, 70 個体発生した。2013 年では 3 回, 157 個体 (13.5%), 2014 年では 2 回, 65 個体 (13.1%), 2015 年では 3 回, 255 個体 (18.2%), 2016 年では 3 回, 342 個体 (22.6%) 発生した。2013 年に多く発生したチャタマゴタケ (46 個体) は本年には 7 月 8 日に 1 個体発生した。2014 年, 2015 年には発生しなかったが, 2016 年に 12 個体発生している。ハタケシメジは 2014 年に 6 個体発生したが, それ以降発生しなかった。

近年, 菌根性菌類の発生種数の割合は地上生菌類のほぼ 3 割から 6 割を占めている (2016 年 59.7%, 2015 年 56.3%, 2014 年 55.9%, 2013 年 56.6%, 2012 年 50.8%, 2011 年 48.2%, 2010 年 50.0%, 2009 年 46.2%, 2008 年 50%, 2007 年 32%, 2006 年 52.8%, 2005 年 65.6%, 2004 年 42.5%, 2003 年 40.3%)。本年の菌根性菌類は 33 種発生し, 全地上生菌類種数の 61.1% 占めた。

全発生子実体数に対する菌根性菌類の本年の割合は 83.9% と非常に高かった (2016 年 42.0%, 2015 年 59.2%, 2014 年 68.3%, 2013 年 66.8%, 2012 年 22.9%, 2011 年 22.2%, 2010 年 34.0%, 2009 年 34.4%, 2008 年 52.9%, 2007 年 25%, 2006 年 74%, 2005 年 82%, 2004 年 50.3%, 2003 年 24.2%, 2002 年 76%)。

新規発生種は 6 種 (ミズゴケノハナ, カガノモミウラタケ?, イッポンシメジ属, 白いアセタケ属, ヒビワレシロハツ近縁, *Russula mariae*?) で, そのうち菌根性菌類は白いアセタケ属, ヒビワレシロハツ近縁種, *Russula mariae* の 3 種であった。

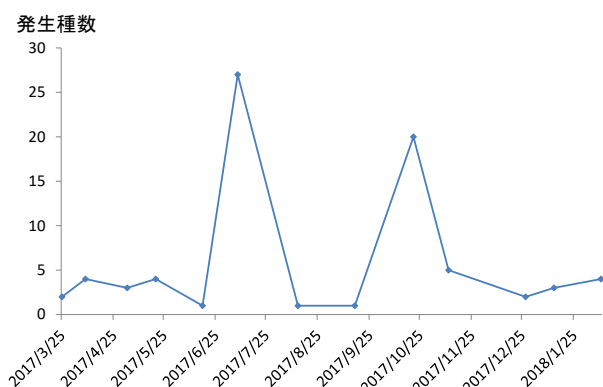


図 1. 2017 年度の地上生菌類の発生消長

例年, いのちの森では地上生菌類は 4 月から発生を始め, 6 月~7 月に 1 回目の発生ピークを示し, 8 月に発生が止まった後, 9 月から再び発生を始め, 9 月~11 月に再度ピークに達する年 2 回ピークを示すことが多い (下野ら, 2011)。本年の地上生菌類の発生種数の変化を図 1 に示す。本年は 7 月 8 日に 27 種 (昨年はこの時期に 18 種) 発生し大きなピークがあった (本年は 6 月 17 日に 1 種しか発生しなかったが, 2016 年には 6 月 18 日に 23 種発生した)。10 月 21 日に 20 種発生したので, 秋の大きな発生ピークも見られた。この 22 年間で大きな発生ピークは夏に 11 回, 秋に 9 回見られた。

2017 年度の地上生菌類発生の特徴を示すと次のようになる。発生種数および発生子実体数のピークが年 2 回 (7 月と 10 月) 現れたこと, 地上生菌類の新規発生種数が 6 種と多かったこと, および調査地 C 内のアジアカロセイウシウロの発生子実体数が減少していることである。

地上生菌類のうち, キツネタケモドキ, ヒメワカフサタケ, ヒメカタシウロ, 菌根性のきのこ, およびアジアカロセイウシウロについて述べる。

(1) キツネタケモドキとヒメワカフサタケとヒメカタシウロ
公園開設当初に発生子実体数の多かった菌根性のきのこ 3 種 (キツネタケモドキ, ヒメワカフサタケ, ヒメカタシウロ) の発生状況を表 4 に示した

この 3 種の発生個体数は近年減少しているが, 本年はヒメワカフサタケが多数発生した。

近年キツネタケモドキは 10 個体以下の発生であったが, 本年は 6 月 17 日, 7 月 8 日, 10 月 21 日に, それぞれ 1 個体, 7 個体, 20 個体の計 28 個体が発生した。2016 年 32 個体, 2015 年 37 個体, 2014 年 4 個体, 2013 年 14 個体, 2012 年 14 個体, 2011 年 28 個体, 2010 年 13 個体, 2009 年 38 個体, 2008 年 71 個体, 2007 年 88 個体, 2006 年 906 個体, 2005 年 850 個体, 2004 年 1582 個体, 2003 年 1284 個体, 2002 年 3739 個体, 2001 年と 2000 年はそれぞれ約 7000 個体が発生した。ヒメワカフサタケは近年になく大量発生した。10 月 21 日に 321 個体, 11 月 11 日に 16 個体の計 337 個体が発生した (2016 年 13 個体, 2015 年 4 個体, 2014 年 1 個体, 2013 年 1 個体, 2012 年 15 個体, 2011 年 28 個体, 2010 年 0 個体, 2009 年 23 個体, 2008 年 29 個体, 2007 年 0 個体, 2006 年 5 個体, 2005 年 23 個体, 2004 年 30 個体, 2003 年 119 個体, 2002 年 301 個体, 2001 年 248 個体, 2000 年 771 個体, 1999 年 571 個体)。ヒメカタシウロは発生しなかった。2016 年 2 個体, 2015 年 1 個体, 2014 年 0 個体, 2013 年 2 個体, 2012 年 75 個体, 2011 年 7 個体, 2010 年 56 個体, 2009 年 3 個体, 2008 年に 36 個体発生した。

(2) 菌根性のきのこ

22 年間に発生した菌根性の種を科別にして表 5 に, 菌根性菌類の発生状況を表 6 に示した。本年に発生した菌根性のきのこは 33 種で地上生菌類の 61.1% を占めた。菌根性菌類と腐生性菌類の発生種数の割合はほぼ例年通りであった。2016 年 59.7% (67 種のうち 40 種), 2015 年 56.3% (64 種のうち 36 種), 2014 年 55.9% (34 種のうち 19 種), 2013 年 56.6% (53 種のうち 30 種), 2012 年 50.8% (63 種のうち 32 種), 2011 年 48.2% (58 種のうち 28 種),

表 4. 2017 年の 3 菌根菌の発消長

生態的特徴	種名	3/25	4/8	5/3	5/20	6/17	7/8	8/13	9/16	10/21	11/11	12/27	1/13	2/10	計	回数	割合
菌根性	キツネタケモドキ					1	7			20					28	3	2.1
菌根性	ヒメワカフサタケ									321	16				337	2	25.6
菌根性	ヒメカタショウロ														0	0	0.0
発生子実体数		0	0	0	0	1	7	0	0	341	16	0	0	0	365		27.8
発生種数		0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0			

2010 年 49.1% (57 種のうち 28 種), 2009 年 46.2% (52 種のうち 24 種), 2008 年 50.0% (50 種のうち 25 種), 2007 年 33.3% (15 種のうち 5 種), 2006 年 38.1% (28 種のうち 11 種), 2005 年 38.1% (21 種のうち 8 種), 2004 年 34.8% (23 種のうち 8 種) であった。

フウセンタケ科が 45.5% (15 種) で, そのうち, アセタケ属 6 種, フウセンタケ属 7 種, ワカフサタケ属 2 種であった。イグチ科は 6.1% (2 種), ペニタケ科は 27.3% (9 種) であった。菌根性菌類の新規発生種は白いアセタケ属, ペニタケ属 (*R. mariae*?), ペニタケ属 (ヒビワレシロハツ似) の 3 種であった。

(3) アジアクロセイヨウショウロ (広義のイボセイヨウショウロ)

地下生の子実体, 黒いトリュフであるアジアクロセイヨウショウロが 2005 年から発生している。13 年間の場所別発生状況を表 7 に, および月別発生状況を表 8 に示した。

「いのちの森」におけるアジアクロセイヨウショウロの発生場所は 2017 年に調査地 I (調査地 C の上部) が増えて, 9 箇所

(A~I) になった。2015 年に調査地 H が増えた。アジアクロセイヨウショウロは 2005 年 8 月に 1 個体発生し (場所 A), その後 2013 年まで計 77 個体発生した。総発生子実体数は 2010 年の 35 個体から, 2011 年 95 個体, 2012 年 226 個体, 2013 年 162 個体, 2014 年 204 個体, 2015 年 248 個体, 2016 年 215 個体発生した。本年は 124 個体発生した。本年は調査地 C 枠内の発生数が減少した。初期の発生場所はマントカラカサタケの発生する付近 (調査地 A) であったが, 2010 年以降いのちの森東側フェンス近くのコナラ周辺 (C; 枠を張った調査地 C) から多く発生している。2012 年に発生した場所は 2 カ所 (D, E) で, 発生場所 D は通用口付近の回廊の下に 2012 年 9 月から発生し, 発生場所 E は最初に発生した場所 (A) の向かい側で 2013 年 2 月に 33 個体発生した。2013 年に新たに 2 カ所 (F, G) から発生した。発生場所 F は E の横で, 2013 年 9 月に発生した。発生場所 G は 2006 年の春の自然観察会時にトガリアミガサタケと一緒に採集された場所 (B) 近くで, 2013 年 12 月に 4 個体発生した。本年は, 調査地 C に 16 個体, 調査地 D に 69 個体, 調査地 H に 10 個体, および新し

表 5. 22 年間に発生した菌根菌の科別種数

科別/年度	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	総発生種数
キシメジ科	0	1	3	3	4	4	3	3	4	2	4	3	4	3	4	3	3	2	2	2	3	1	7
テングタケ科	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	3	0	1	2	2	9
フウセンタケ科	0	0	5	15	18	18	14	11	8	7	11	5	12	8	8	12	10	6	13	13	15	15	46
イグチ科	0	0	2	5	5	4	2	4	1	3	1	0	0	2	3	1	6	3	4	5	4	2	15
ペニタケ科	0	1	2	2	7	6	2	2	7	5	7	3	6	6	6	4	4	6	3	10	11	9	24
ニセショウロ科	1	1	1	2	1	2	3	2	3	2	2	2	4	3	5	5	3	3	3	4	1	5	5
ツチグリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1
Hymenogaster 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
Hydoranjiaceae 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
セイヨウショウロ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アミガサタケ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
総数	1	3	15	29	35	34	24	23	22	21	28	15	25	24	28	28	32	30	19	36	40	33	111

トガリアミガサタケは, 2006 年, 2008 年, 2010 年は菌根性菌類に含めなかったが, 2013 年度発生から菌根性に含めた。

表 6. 2017 年に発生した地上生菌根菌類

番号	生態的特徴	種名	3/25	4/8	5/3	5/20	6/17	7/8	8/13	9/16	10/21	11/11	12/27	1/13	2/10	計	回数	割合	新規発生種
1	菌根性	キツネタケモドキ					1	7			20					28	3	2.1	
2	菌根性	アカハテングタケ						1								1	1	0.1	
3	菌根性	チャタマゴタケ						1								1	1	0.1	
4	菌根性	カブラアセタケ近縁						1								1	1	0.1	
5	菌根性	キヌハダニセトマヤタケ						85			20					105	2	8.0	
6	菌根性	アセタケ属						5								5	1	0.4	
7	菌根性	シロトマヤタケ?					50	4								54	2	4.1	
8	菌根性	白いアセタケ属						20								20	1	1.5	○
9	菌根性	アセタケ属大オオキヌハダトマヤタケ						1								1	1	0.1	
10	菌根性	ツバムラサキフウセンタケ									20					20	1	1.5	
11	菌根性	フウセンタケ属									40					40	1	3.0	
12	菌根性	フウセンタケ属サザナミニセフウセンタケ?									1					1	1	0.1	
13	菌根性	フウセンタケ属 2									10					10	1	0.8	
14	菌根性	フウセンタケ属小									19					19	1	1.4	
15	菌根性	ナツノカワムラフウセンタケ									5					5	1	0.4	
16	菌根性	フウセンタケモドキ									197					197	1	15.0	
17	菌根性	ヒメワカフサタケ									321	16				337	2	25.6	
18	菌根性	ワカフサタケ属									61					61	1	4.6	
19	菌根性	クロアザアワタケ						6								6	1	0.5	
20	菌根性	ピロードクリイロイグチ						1								1	1	0.1	
21	菌根性	ニオイコベニタケ						12			4					16	2	1.2	
22	菌根性	キチャハツ						4	2		4					10	3	0.8	
23	菌根性	カラムラサキハツ近縁種		1	2											3	2	0.2	
24	菌根性	ペニタケ属ヒダ黄色						1								1	1	0.1	
25	菌根性	ペニタケ属白										1				1	1	0.1	
26	菌根性	ペニタケ属 ヒビワレシロハツ似?						1								1	1	0.1	○
27	菌根性	ペニタケ属 <i>mariae</i> ?						1								1	1	0.1	○
28	菌根性	アカシミヒメチチタケ						1								1	1	0.1	
29	菌根性	ニオイワチチタケ						1								1	1	0.1	
30	菌根性	ツチグリ											4	1		5	2	0.4	
31	菌根性	コニセショウロ						25								25	1	1.9	
32	菌根性	シロツブタケ?														1	1	0.1	
33	菌根性	アジアクロセイヨウショウロ		1	1					38	26	17	16	17	8	124	8	9.4	
発生子実体数			1	3	1	50	1	178	2	38	749	34	16	21	9	1103	33	83.9	3
発生種数			1	2	1	1	1	19	1	1	15	3	1	2	2				

い調査地 I に 29 個体発生した。

アジアクロセイヨウショウロの発生消長・位置、および分散の仕方等を明らかにするために、2011 年 12 月に 4mX8m のコドラートを調査地 C に設置した。2017 年 11 月 11 日および 2017 年 12 月 27 日の発生子実体の位置を図 2、3 に示した。

調査地 C に発生したほぼすべての子実体を乾燥して標本にした。これらのうち 2012 年と 2013 年に採集した 4 個体から FTA カードで DNA を採取し DNA を抽出してリボソーム DNA の ITS 領域の塩基配列を得た。折原氏（私信）も「いのちの森」のアジアクロセイヨウショウロからリボソーム DNA の 28S の D1, D2 領域の結果も得ている。

木下ら（2011）は、日本に発生する広義のイボセイヨウショウロには、ヨーロッパの *Tuber indicum* (A グループ) と異なる *T. indicum* の B グループに属する近縁種が 2 種、すなわち *T. sp. 6*、および *T. sp. 7* があり、両者の識別は子実体の形態的特徴だけでは難しいと報告している。韓国にもイボセイヨウショウロに近縁な種、*T. formosanum* がある (Huang et. al 2009)。木下らは 2018 年に日本産のセイヨウショウロ属の形態学的特徴および分子生物学的解析から、2 種の黒い日本産トリュフのうち *T. sp. 6* を *T. himalayense* (アジアクロセイヨウショウロ) とし、*T. sp. 7* を新種 *T. longispinosum* (和名をそのままのイボセイヨウショウロ) として報告した。いのちの森に発生する黒

いイボセイヨウショウロは形態学的特徴、およびリボソーム DNA の塩基配列から、木下ら（2011）の *Tuber sp. No. 6*、および韓国の *T. formosanum* と同種でアジアクロセイヨウショウロ (*T. himalayense*) であることが明らかになった。

「いのちの森」の地上生菌類の発生状況等を 2011 年 11 月 30 日発行の環境情報科学論文集に、ビオトープ「いのちの森（京都市）」における 14 年間の地上生菌類相の変遷（下野ら、2011）として報告したので、参考にしてほしい。

考察

地上生菌類の発生時期について

関西の常緑広葉樹林（コジイ林）における菌根性菌類の発生ピークは 7 月中旬～8 月上旬にあることが分かっている（下野、1995）。1998 年以降、「いのちの森」で 2 つの大きな発生時期（夏、秋）が認められている（下野ら、2011）。本年を含めた 22 年間で夏（6 月か 7 月）に大きな発生ピークが認められた年は 2002 年、2003 年、2005 年、2006 年、2007 年、2009 年、2012 年、2013 年、2014 年、2015 年、および 2017 年の 11 回で、秋に大きなピークが見られたのは 1998 年、1999 年、2000 年、2001 年、2004 年、2008 年、2010 年、2011 年、2016 年の 9 回であった。2012 年は 7 月に地上生菌類がまったく発生しなかったが、6 月に 27 種発生した。しかし、この年は秋にピークが見られない夏のピークだけの年 1 回発生であった。これは 8 月中旬から 10 月上旬にかけての少降水量（8 月中旬から、それぞれ 30mm、54.5mm、17mm、69mm、3mm）のためと考えられる。本年は 7 月に多くの種数（27 種）が発生し、秋（10 月）のピークも見られた。夏の発生の仕方は梅雨後期の降雨量や雨の降り方に関係していると考えられる。表 9 より、2005 年、2014 年、2015 年、および 2017 年は 7 月に大きな発生ピークがあり、それに対して 2016 年は秋（9 月）に大きなピークがあった。地上生菌類の発生種数は 2014 年 34 種、2005 年 32 種と少なく、2015 年 64 種、2016 年 67 種、2017 年 54 種と多かった。5 月中旬から 7 月上旬、特に、2014 年

表 7. アジアクロセイヨウショウロの 13 年間の発生場所別個体数

場所・年	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	総数
A	1		2	4	0	21	4	32	13					77
B		2						2						4
C						14	90	130	101	165	120	105	16	741
D							1	29	28	16	50	81	69	274
E								33	8	10	10	2		63
F									8	3	6	3		20
G									4	0	1	1		6
H										10	61	23	10	104
I													29	29
計	1	2	2	4	0	35	95	226	162	204	248	215	124	1318

表 8. 13 年間のアジアクロセイヨウショウロの月別発生消長

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	子実体数計
計	23	58	16	0	29	16	380	276	117	173	117	113	1318

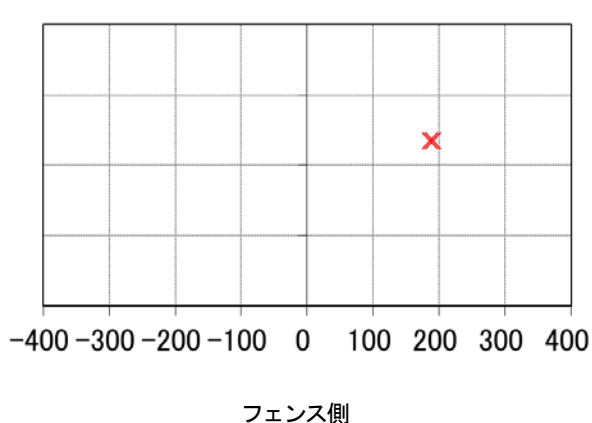


図 2 2017 年 11 月 11 日のアジアクロセイヨウショウロの発生位置（2 個体発生）

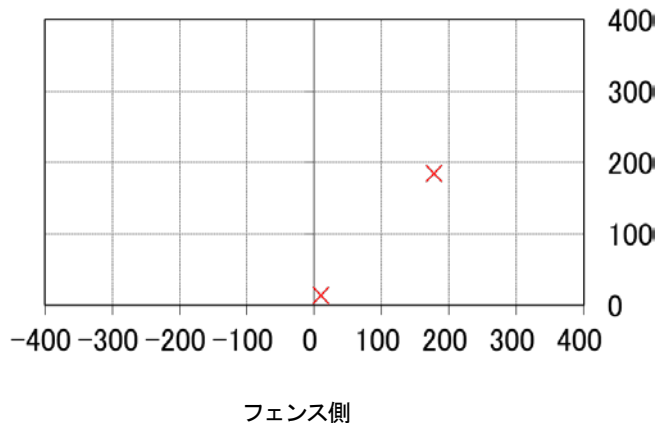


図 3 2017 年 12 月 27 日のアジアクロセイヨウショウロの発生位置（2 個体発生）

表9. 京都気象台における2005年および2014年から2017年の降水量と
地上生菌類の発生種数

	05年	14年	15年	16年	17年	平均降水量*
	夏ピーク	夏ピーク	夏ピーク	秋ピーク	夏ピーク	
年発生種数	32	34	64	67	54	
年降水量	954.4	1337.0	2042.0	1840.0	1469.5	1491.0
5月中旬～下旬	13.5	71.0	111.5	147.5	66.0(5月) ^b	110.4
6月	73.0	61.0	263.0	248.0	205.0	214.0
7月	198.5	98.0	416.5	102.5	150.5	220.4
8月上旬	53.0	418.0	165.5	53.0	129.5(8月)	36.0
8月中旬～下旬	49.0	69.0	84.0	95.5		96.1
9月上旬～中旬	83.5	39.0	167.5	303.5	159.0(9月)	106.3

*:1981年から2010年までの平均(単位はmm)

^b:月の降水量

と2005年の6月降水量(平年214mm)に対して、2014年61mm、2005年73mm)の少なさ、それに対して2015年(263mm)および2017年(205mm)の6月の降水量の多さが、夏のピーク時の発生種数に大きな影響を与えていると考えられる(表9)。一方、2016年のように秋に発生ピークを示す年は7月の降水量が少なく(平年220.4mmに対して102.5mm)、8月から9月中旬の降水量が多かった(平年238.4mmに対して452mm)。これらのことから、「いのちの森」では6月下旬～7月上旬の降水量が多いときに夏の大きなピークを生じることが多いと考えられる。この時期に降水量が多いと夏の発生種数が多くなり、秋に降水量が多くても夏の発生種数を超えることは少ないようである。それに対して、2011年のように梅雨後期の降水量が極端に少ないと7月の発生種数が減少し、秋の降水量が多いと夏に出なかった種が秋に多く発生すると考えられる(下野ら、2011)。また、「いのちの森」は京都市東山の林よりも市街地にあり、面積が狭いために、降水量、特に夏の乾燥の影響を受けやすいと推測される。

菌根性菌類の新規発生種の由来

「いのちの森」では毎年4種から9種の地上生菌類の新規発生がある。本年は6種が新規発生し、腐生性菌類3種、菌根性菌類3種であった。菌根性菌類の種はどこから来たのか、公園開設22年後の本年は3種(白いアセタケ属、ベニタケ属(ヒビワレシロハツ?), ベニタケ属)が新規に発生した。2010年に発生したチャタマゴタケ、2005年から発生しているアジアクロセイヨウシウロ、ベニタケ属、フウセンタケ属、および本年のベニタケ属2種の後期発生菌根性菌類の由来が分からない。初期発生のアセタケ属、キツネタケモドキ、ヒメカタシウロなどの菌根性菌類および腐生性菌類は、移植された樹木の根鉢の土とともに運ばれたと考えるのが妥当である。公園が開設されてから15年以上も経ってから発生したテングタケ属のチャタマゴタケやフウセンタケ属やイグチ属やベニタケ属の種が長期間根鉢の土壌中で存在し菌糸が充実した後に、子実体を発生したのであろうか。このように考えるのが一般的である。しかし、これ以外の要因や胞子の伝搬によって定着し、菌糸が充実した後に子実体を発生したとも考えられる。マツタケでは胞子の寿命が短くて土の中に長期間生存できないとの報告がある。他の菌根性菌類もマツタケと同様に胞子の寿命が短いのか、あるいは胞子寿命の長い菌根性菌類が存在するのかが不明である。これらの事柄は今後の継続した調査で明らかになるとと思われる。

おわりに

本年の地上生菌類の発生種数が54種で、新規発生種が6種、

そのうち菌根性菌類が3種(白いアセタケ属、ベニタケ属(ヒビワレシロハツ?), ベニタケ属)で、遷移後期発生菌根菌はベニタケ属(ヒビワレシロハツ?)とベニタケ属であった。いのちの森のアジアクロセイヨウシウロの発生場所および分散に関して森林総合研究所の中村慎崇氏がマイクロサテライトを用いて、現在解析中である。この結果が楽しみである。本年は調査地Cに発生するアジアクロセイヨウシウロが激減した。来年度もこの減少傾向が続くかどうか興味がある。地上生菌類の遷移初期に発生する3菌根菌のうち、近年ほとんど発生しなかったヒメワカフサタケが多数発生した。どのような理由で近年発生の少なかったヒメワカフサタケの大量発生が生じたのか分からない。キツネタケモドキは少数発生し、ヒメカタシウロは発生しなかった。「いのちの森」の地上生菌類の発生消長を長期的な変化を明らかにするために来年度も月1回の調査を行いたい。よろしく願いいたします。

最後に、京都市都市緑化協会の皆様には調査の際に多大なるご配慮を頂きました。ここに感謝を申し上げます。

引用文献および参考文献

- Bon, M. 1987. The mushrooms and Toadstools of Britain and North-western Europe 350P
- Collier, F. A., and Bidartondo M. 2009. Waiting for fungi: the ectomycorrhizal invasion of lowland heathlands. British Ecological Society, Journal of Ecology 1-14
- Ford, E. D., Mason, P. A., and Pelham, J. 1980. Spatial patterns of sporophore distribution around a young birch tree in three successive years. Trans. Br. Mycol. Soc. 75:278-296
- 石田将士. 2003. いのちの森でのセミの生態調査. いのちの森 No. 8 2003年度調査報告 25-26
- 岩瀬剛二・下野義人・大藪崇司・勝又伸吾. 2002. ビオトープにおける大型菌類相の比較-紉の森といのちの森-都市の野生生物生息環境ダイナミクスと順応的管理. 86-104P. アーバンエコロジカルプランニング研究会
- 岩瀬剛二・大藪崇司・下野義人. 2005. 都市緑地の菌類. いのちの森. 生物親和都市の理論と実践. 京都大学出版会 130-151
- 岩瀬剛二・大藪崇司・勝又伸吾・下野義人. 2003. 大型菌類相の比較-紉の森といのちの森-. 関西菌類談話会講演要旨集
- 岩瀬剛二・小林久泰・大藪崇司・田中安代・川島聡子・普代貴子・下野義人. 2002. ビオトープ「いのちの森」における大型菌類相の復元程度. 関西菌類談話会講演要旨集
- 気象庁ホームページ 京都地方気象台. 京都府の気象データ
- 小林久泰・岩瀬剛二・大藪崇司・田中安代・川島聡子・普代貴子・下野義人. 2000. 復元型ビオトープ「いのちの森」における菌類調査. 関西菌類談話会講演要旨集
- Last, F. T., Mason, P. A., Pelham, J., and Ingleby, K. 1984a. Succession of fruitbodies of sheathing mycorrhizal fungi associated with Betula pedula. For. Ecol. Manage. 9:229-234
- Last, F. T., Mason, P. A., Pelham, J., and Ingleby, K. 1984b.

Fruitbody production by sheathing mycorrhizal fungi: Effects of Host genotypes and propagating soils. For. Ecol. Manage. 9:221-227

本郷次雄 他. 1994. 山溪フィールドブックス 10 きのこと. 381p. 山と溪谷社. 東京

本郷次雄. 1998. 攪乱地のきのこ. 千葉菌類談話会通信 14:2-3
Huang JH, Hu HT, Shen WC 2009. Phylogenetic study of two truffles, *Tuber formosanum* and *Tuber furfuraceum*, identified from Taiwan. FEM Microbio Lett. 294 157-171

今関六也・本郷次雄. 1987. 原色日本菌類図鑑 (1). 325 P. 保育社, 大阪

今関六也・大谷吉雄・本郷次雄. 1989. 原色日本菌類図鑑 (2). 315 P. 保育社, 大阪

今関六也・大谷吉雄・本郷次雄. 1988. 日本のきのこ. 623 P. 山と溪谷社, 東京

Kinoshita, A, Sasaki H., Nara K. 2010. Phylogeny and diversity of Japanese truffles (*Tuber* spp.) inferred from sequences of four nuclear loci. Mycologia 103(4): 779-794
Kinoshita A., Nara K., Sasaki H., Feng B., Obase K. Yang Z. L. Yamanaka T. 2018. Using mating-type loci to improve taxonomy of the *Tuber indicum* complex, and discovery of a new species, *T. longispinosum* Plos ONE. Published: March 28, 2018 <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0193745>

Last, F. T. 1984. Mycorrhizal fungi of *Betula* spp.: Factors affecting their occurrence. Proc. Royal Sci. Edinburgh 85B:141-151

丸山健一郎. 1994. 大和民俗公園のキノコ相について. 奈良植物研究 17:19-28

Mason, P. A., Wilson, J and Last, F. T.. 1984. Mycorrhizal fungi of *Betula* spp.: Factors affecting their occurrence. Proc. Royal Sci. Edinburgh 85B:141-151

宮崎武司. 2000. 奈良教育大学附属自然環境教育センター奥吉野実習林の高等菌類-1996~1997 に発生したキノコとその季節変化-. 奈良教育大学自然環境教育センター紀要 3: 13-44

Nagasawa E., Y. Shimono, and T. Hongo. 2000. The occurrence of *Hypholoma tuberosum* (Agaricales, Strophariaceae) in Japan. Rep. Tottori. Mycol. Inst. 38: 6-13

長沢栄史・下野義人. 2001. *Hypholoma tuberosum* の日本における発生について. 日本菌学会東京大会 第45回講演要旨集32p

根本敬子・移川仁・溝田浩二. 2005. 青葉山市有林 (仙台市) のキノコ相. 宮城教育大学教育研究紀要 8: 113-116

大久保雅宏. 春日山のキノコ相. 1994. 奈良教育大学 奈良公園の自然 95-103

Redecker D., Szaro T. M., Bowman R. J., and Bruns T. D. 2001. Small genets of *Lactarius xanthogalactus*, *Russula cremoricolor* and *Amanita francheti* in late-stage ectomycorrhizal successions. Molecular Ecology 10:1025-1034

下野義人. 1995. コジイ林における地上生高等菌類, 特にベニ

タケ属の生態学的研究. 学位論文. 大阪府立大学農学部

下野義人・小林久泰・大藪崇司・田中安代・榎本百利子・岩瀬剛二. 1999. ビオトープ「いのちの森」のきのこ調査. 関西菌類談話会講演要旨集

下野義人・小林久泰・大藪崇司・田中安代・川島聡子・普代貴子・岩瀬剛二. 2000. 都市内復元型ビオトープにおける大型菌類相調査. 日緑工誌 25(4): 543-546

下野義人・小林久泰・大藪崇司・田中安代・川島聡子・普代貴子・岩瀬剛二. 2001. 「いのちの森」における材上生菌類. 関西菌類談話会講演要旨集

下野義人・小林久泰・大藪崇司・田中安代・川島聡子・普代貴子・岩瀬剛二. 2001. ビオトープ「いのちの森」における材上生菌類. 関西自然保護機構報 23(1):31-44

下野義人・大藪崇司・岩瀬剛二. 2008. ビオトープ「いのちの森」における12年間の地上生菌類相の変遷. 日本菌学会三重大大会 第52回講演要旨集81p

下野義人・大藪崇司・折原貴道・岩瀬剛二. 2009. 復元型ビオトープ「いのちの森」における菌類遷移. 日本菌学会鳥取大会 第53回講演要旨集

下野義人・大藪崇司・折原貴道・兼村星志・岩瀬剛二. 2008. 「きのこ」分野の調査報告. いのちの森 13:25-36

下野義人・大藪崇司・折原貴道・兼村星志・岩瀬剛二. 2009. 「きのこ」分野の調査報告. いのちの森 14:23-35

下野義人・大藪崇司・折原貴道・岩瀬剛二. 2010. 京都市にあるビオトープ「いのちの森」の菌類相. 日本菌学会玉川大会 第54回講演要旨集

下野義人・大藪崇司・森本幸裕・岩瀬剛二. 2011. ビオトープ「いのちの森(京都市)」における14年間の地上生菌類相の変遷. 環境情報科学センター 環境情報科学論文集 25: 203-208.

下野義人・大藪崇司・北出雄生・岩瀬剛二. 2016. 「いのちの森」における *Tuber* sp. の発生消長, 発生分布, および分類学的検討. 日本菌学会京都大学大会 第60回講演要旨集

下野義人・大藪崇司・北出雄生・折原貴道・松田陽介・岩瀬剛二. 2018. 京都市の復元型ビオトープ「いのちの森」におけるイボセイヨウショウロの分布と消長. 日本菌学会信州大学大会 第62回講演要旨集

高山義秀・菊池淳一. 2005. 奈良教育大学構内における菌類相とその季節変化. 奈良教育大学自然環境教育センター紀要 7:1-17

(摘要) 2017年は「いのちの森」が完成してから22年目になる。本年の発生種数は96種発生した。材上生菌類は42種発生し、新規発生種は6種あった。地上生菌類は54種発生し、そのうち新規発生種は6種(腐生性菌類3種, 菌根性菌類3種)あった。地上生菌類の大きな発生ピークは夏(7月)と秋(10月)の年2回見られた。黒いトリュフであるアジアクロセイヨウショウロ(広義のイボセイヨウショウロから2018年3月の木下らの論文で変更された)は9月~2月に発生したが、発生子実体数は減少気味であった。

いのちの森自然観察会報告

田端敬三・北川ちえこ

「いのちの森」は1996年4月に開園の、都市域に復元されたビオトープである。「いのちの森」の重要な役割のひとつが「環境教育の場」である。そこで、いのちの森を活用した自然観察会を1996年の開設時からこれまで継続して開催している。2016年度は以下の内容での自然観察会を実施した。

1. グリーンフェア自然観察会

1) いのちの森 春の自然観察会

- ・5月3日(水・祝) 10:00～15:00
- ・スタッフ: 16人
- ・参加者: 63人

2) いのちの森 秋の自然観察会

- ・10月1日(日) 10:00～15:00
- ・スタッフ: 6人
- ・参加者 12人

2. 梅小路子ども自然観察会「緑の学校」

「和の花を植えるなどしながら、冬から春にかけての生き物の息づかいを感じ、自然を大切にする心を育む」がテーマの小学生対象の自然観察会「緑の学校」を今年度は6回実施した。

第1回 5月20日(土): 13:30～15:30

- ・田植え体験
- ・ヒオウギ植替え

第2回 6月17日(土): 13:30～15:30

- ・きのこ観察
- ・クリンソウの植え付け

第3回 7月15日(土): 13:30～15:30

- ・いのちでの田んぼまわりの生きもの観察

第4回 8月5日(日): 13:30～15:30

- ・昆虫観察
- ・工作体験



写真1: 子ども自然観察会（8月5日）

第5回 9月16日(土): 13:30～15:30

- ・稲刈り
 - ・いのちでの田んぼまわりの生き物の観察
- 第6回 10月14日(土): 13:30～15:30
- ・脱穀体験
 - ・いのちでの田んぼまわりの生き物観察

3. 月例観察会

毎回トピックを変えた自然観察を通じ、一般市民に様々な動植物や自然の仕組みに親しんでもらおうと、2005年度から月例観察会を行ってきた。今年度行った各観察会のテーマ、講師、スタッフは表の通りである。今年度は累計67名の参加があった



写真2: 月例自然観察会（2018年2月17日）

表 2017年度月例観察会の内容

開催日	テーマ	講師	スタッフ	参加数
2017年				
4月15日(土)	梅小路公園内の植物観察	北川	田端、中西、橋本、藤井	4
5月20日(土)	梅小路公園内の植物観察	北川	田端、鳥居、中西、藤井	4
6月17日(土)	いのちの森のきのこ	下野	小宅、北川、中西、橋本、藤井	2
7月15日(土)	梅小路公園内の植物観察	北川	中西	2
8月19日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	小宅、北川、中西、橋本、藤井	11
9月16日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	小宅、北川、中西、藤井	2
10月21日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	北川、中西	4
11月18日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	北川、中西、橋本、藤井	2
12月18日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	北川、鳥居、長尾、中西、橋本	4
2018年				
1月15日(土)	冬鳥の観察	橋本	北川、長尾、中西、藤井	9
2月17日(土)	公園管理から見る植物	杉山	小宅、北川、鳥居、長尾、中西、橋本、藤井	14
3月17日(土)	梅小路公園内の植物観察	田端	北川、中西	9

京都ビオトープ研究会
いのちの森モニタリンググループ
2017 年度名簿

研究者・専門家

今井 健介（京都教育大学）	金子 祐希
今西 亜友美（近畿大学）	河合 繁好
今西 純一（京都大学大学院）	川上 哲平（京都大学大学院）
岩瀬 剛二（帝京科学大学）	川村 奈々
大石 善隆（福井県立大学）	北川 ちえこ
奥野 正樹（岐阜大学）	北出 雄生（京都大学）
大藪 崇司（兵庫県立淡路景観園芸学校）	桑原 千佳
折原 貴道（神奈川県立生命の星・地球博物館）	紅野 博
梶川 伸二（株式会社 GK 京都）	小林 直正
嘉田 修平	眞田 博子（自然観察指導員京都連絡会）
神藤 和憲（京都市建設局）	眞田 幹雄（自然観察指導員京都連絡会）
小林 久泰（茨城県林業技術センター）	清水 良大（京都学園大学）
佐々木 剛（徳島大学大学院）	杉山 賢子（京都大学）
佐藤 治雄	杉村 真美
島田 泰夫（（財）日本気象協会）	鈴木 啓介
下野 義人（三重大学大学院）	高堂 友実（京都市 建設局）
須川 恒（日本鳥学会）	鳥居 道治
高桑 進（京都女子大学 短期大学部）	中西 有美
田端 敬三（近畿大学）	中西 花奈（京都学園大学）
中村 彰宏（大阪府立大学大学院）	長尾 輝治
中村 進（大阪府立岸和田高校）	長谷川 美奈子
夏原 由博（名古屋大学大学院）	馬場 玲子（大阪府 環境農林水産研究所）
橋本 啓史（名城大学）	林 隆二（京都産業大学）
松岡 俊将（兵庫県立大学）	平澤 一男
松本 淳（越前町立福井総合植物園）	深谷 祐介（京都学園大学）
松良 俊明	藤井 基弘（京都大学大学院）
宮本 水文（京都薬科大学 薬用植物園）	保賀 昭雄（HOGA）
三木 聡子	堀井 雅人（京都大学）
村上 健太郎（北海道教育大学）	松井 理恵（パシフィックコンサルタンツ（株））
守村 敦郎（人間環境大学）	松岡 俊将
森本 淳子（北海道大学大学院）	三井 崇史（京都大学）
森本 幸裕（京都学園大学）：研究会代表	百生 太亮（京都学園大学）
横井 智之（筑波大学大学院）	吉村 和也（林野庁）
渡辺 茂樹	

市民・学生・大学院生

上村 晋平	伊藤 信太郎
小宅 由似（京都大学大学院）	佐藤 正吾
加藤 友章（加藤造園）	藤井 俊志

公益財団法人 京都市都市緑化協会 梅小路公園担当

伊藤 信太郎
佐藤 正吾
藤井 俊志



このレポートは京都市都市緑化協会が管理する京都市梅小路公園(総合公園)に
1996年に開設された復元型ビオトープ「いのちの森」約0.7haのモニタリングを
行っているボランティアグループによる2017年度の調査記録である。

「いのちの森No.22」 2018年10月7日

編集: 田端 敬三

発行: 京都ビオトープ研究会

<http://inochinomori.sakura.ne.jp>

いのちの森: 問い合わせ先

605-0071 京都市東山区円山町463番地

公益財団法人 京都市都市緑化協会

TEL: 075-561-1350 FAX: 075-561-1675

<http://www.kyoto-ga.jp/>